

令和7年
岩手県教育委員会定例会
8 月

岩 手 県 教 育 委 員 会

令和7年8月 岩手県教育委員会定例会議事日程

令和7年8月25日（月）午後1時30分

第1 会期決定の件

第2 議案第10号 教育委員会の事務に係る点検及び評価に関し議決を求めることについて (教育企画室)

第3 議案第11号 県立高等学校の学科の廃止に関し議決を求めることについて (学校教育室)

第4 議案第12号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて (サービス管理監)

第5 議案第13号 学校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分に関し議決を求めることについて (サービス管理監)

閉会

議案第 10 号

教育委員会の事務に係る点検及び評価に関し議決を求めることについて

教育委員会の事務に係る点検及び評価の結果に関する報告書を別添のとおりとすることについて、議決を求める。

令和 7 年 8 月 25 日提出

岩手県教育委員会教育長 佐 藤 一 男

理由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定により、教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出しようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

令和 6 年度
教育委員会事務点検評価報告書
(主要施策の成果に関する説明書)

令和 7 年 8 月
岩手県教育委員会

目 次

いわて県民計画（2019～2028）政策推進プラン（2023年度～2028年度）の 取組と成果-----	議10- 7
I 「健康・余暇」分野-----	議10-17
II 「家族・子育て」分野-----	議10-19
III 「教育」分野-----	議10-21
VII 「歴史・文化」分野-----	議10-24
政策項目No.5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります-----	議10-25
政策項目No.6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります-----	議10-28
政策項目No.7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して 子どもの育ちと学びを支えます-----	議10-30
政策項目No.9 仕事と生活を両立できる環境をつくります-----	議10-33
政策項目No.11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます-----	議10-35
政策項目No.12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます-----	議10-38
政策項目No.13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます-----	議10-41
政策項目No.14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます-----	議10-43

政策項目No.15	いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを 尊重する学校をつくれます-----	議10-45
政策項目No.16	児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や 教職員の資質の向上を進めます-----	議10-48
政策項目No.18	地域に貢献する人材を育てます-----	議10-51
政策項目No.31	ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、 一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくれます-----	議10-54
政策項目No.40	世界遺産の保存と活用を進めます-----	議10-56
政策項目No.41	豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境を つくり、交流を広げます-----	議10-57
参考資料 1	令和6年度「教育委員会事務点検評価報告書」指標一覧表-----	議10-59
2	いわて県民計画（2019～2028）政策推進プラン 事務事業一覧表-----	議10-67

いわて県民計画（2019～2028）

政策推進プラン（令和5年度～令和8年度）の 取組と成果

岩手県では、平成31年（2019年）3月に、今後10年間を計画期間とする新しい総合計画「いわて県民計画（2019～2028）」を策定し、令和5年3月にこの計画の第2期アクションプランとして、2023年度から2026年度までの4年間を対象とした「政策推進プラン」を策定しました。

「政策推進プラン」では、各政策分野における幸福に関連する客観的な指標（いわて幸福関連指標）のほか、政策項目ごとに、取組の「基本方向」、「県が取り組む具体的な推進方策」、「県以外の主体に期待される行動」を示しています。

この報告書は、「いわて県民計画（2019～2028）第2期政策推進プラン」で定めた目標がどれだけ達成できたかという視点で、教育委員会の令和6年度の事務事業の実績を評価したものであり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に定める教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価結果の報告書となるものです。

- ・ いわて県民計画（2019～2028）第2期政策推進プランのうち、教育委員会が所管する政策分野（Ⅲ教育）及び政策項目（政策項目№5、7、11～16、18）（ただし、他部局関係部分を除く。）並びに他部局が所管する政策分野及び政策項目のうち、教育委員会関係部分について掲載しています。
- ・ いわて幸福関連指標と具体的な推進方策指標の令和6年度実績に基づく「達成度」の考え方は、次のとおりです。

達成度の区分	目標達成率	■達成度 令和6年度にどれくらい達成したかを示す割合 ■目標達成率の計算式 ①通常の指標（現状値から数値を上げる目標） $\frac{(R6 \text{ 実績値} - R3 \text{ 現状値})}{(R6 \text{ 目標値} - R3 \text{ 現状値})} \times 100$ ②維持指標等（現状値を維持する目標等） $(R6 \text{ 実績値}) / (R6 \text{ 目標値等}) \times 100$
達成（A）	100%以上	
概ね達成（B）	80%以上100%未満	
やや遅れ（C）	60%以上80%未満	
遅れ（D）	60%未満	

- ・ 数値を維持することを目標とする指標には、指標名の前に「◆」を表示しています。
- ・ 指標によっては、実績値が確定していない、令和6年度目標値を設定していないなどの理由で、数値や達成度を「－」としている場合があります。

1 位置付け

- (1) 地方自治法第233条第 5 項の規定に基づき県議会に提出する決算附属書類
- (2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき県議会に提出する事務の管理・執行状況の点検評価結果報告書

2 内容

「いわて県民計画（2019～2028）」の政策推進プラン（2023年度～2026年度）（令和 5 年 3 月策定）を対象に、令和 3 年を基準年度（現状値）として、令和 7 年 3 月末時点の各指標の達成度を示すもの。（基準年度から見た年度目標に対する到達度）

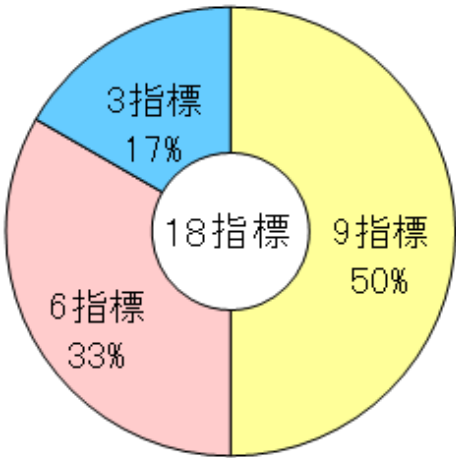
3 政策推進プランの令和 6 年度の達成状況

- (1) 10の政策分野における幸福に関連する客観的な指標である「いわて幸福関連指標」18（18）*の「概ね達成」以上の割合は83%となりました。〔※指標数の（ ）内は、未測定指標を含む全指標数。（2）に同じ。〕
- (2) 県が主体となって具体に取り組む「具体的な推進方策」を示した83（87）の指標の「概ね達成」以上の割合は84%となりました。

グラフの見方:「達成【A】」:100%以上、「概ね達成【B】」:80%以上100%未満、「やや遅れ【C】」:60%以上80%未満、「遅れ【D】」:60%未満

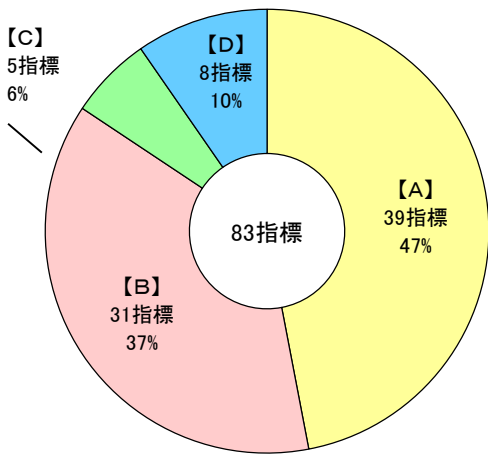
(1) 「いわて幸福関連指標」の達成状況

- ①「達成【A】」又は「概ね達成【B】」：15指標(83%)
- ②「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」：3指標(17%)



(2) 「具体的な推進方策指標」の達成状況

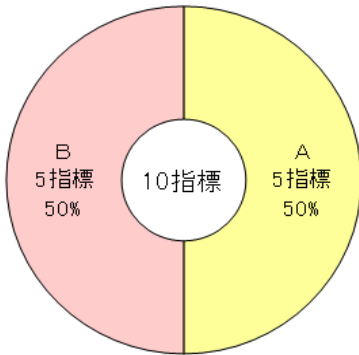
- ①「達成【A】」又は「概ね達成【B】」：70指標(84%)
- ②「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」：13指標(16%)



4 教育委員会所管の政策項目の具体的な推進方策の状況

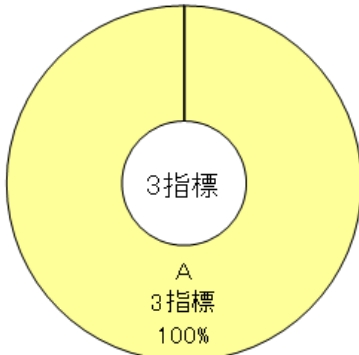
政策項目No.5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります

- ①具体的推進方策指標10指標は、達成度A、Bが10指標です。
- ②推進方策「多様な学びのニーズに応じた拠点の充実」では、県民一人ひとりが学びたい時に学べる環境を提供するため、博物館等の県立社会教育施設のハード面、ソフト面の充実などを計画的に進め、幅広い学びのニーズに応じた学習機会を提供する拠点づくりに取り組みました。また、市町村が設置する公民館等の学びの拠点の発展のため、ニーズに応じた事業支援や優れた活動の周知・交流を積極的に進めました。



政策項目No.6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります

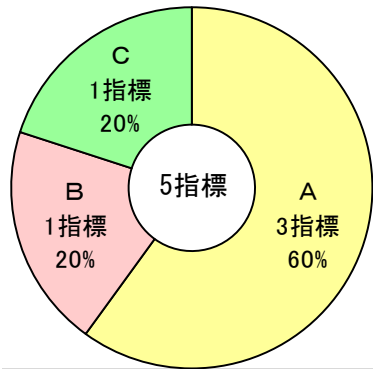
- ①具体的推進方策指標3指標は、達成度Aが3指標です。
- ②推進方策「家庭教育を支える環境づくりの推進」では、「すこやか子育て相談」のチラシを作成・配布し、子育てに係る相談窓口の周知と利用促進を図りました。また、家庭教育・子育て支援に関わる地域人材の活用や多様な団体との連携・協力、協働を図るため、子育てサポーターなど関係者の資質向上やネットワークづくりに向けた研修等を実施し、参加者間の交流の機会の創出に取り組みました。



政策項目No.7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます

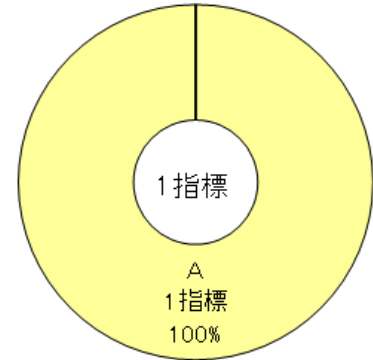
- ①具体的推進方策指標5指標は、達成度A、Bが4指標、達成度Cが1指標です。
- ②達成度Cの指標は、「いわて特別支援学校就労サポーター制度への登録者数」です。

・サポーター養成講座の広報等に取り組みましたが、令和6年度の養成講座実施校の中には山間部等人口が少ない地域の学校もあり、受講者数が例年より少なかったことなどにより、伸び悩んだためです。



政策項目No.9 仕事と生活を両立できる環境をつくります

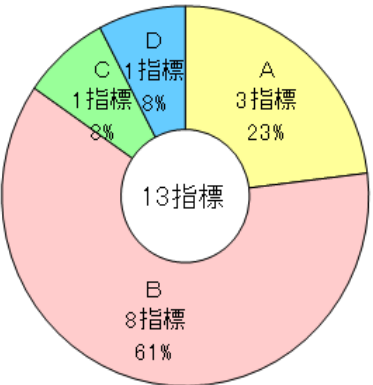
- ①具体的推進方策指標1指標は、達成度Aが1指標です。
- ②推進方策「家庭教育を支える環境づくりの推進」では、「すこやか子育て相談」のチラシを作成・配布し、子育てに係る相談窓口の周知と利用促進を図りました。また、家庭教育・子育て支援に関わる地域人材の活用や多様な団体との連携・協力、協働を図るため、子育てサポーターなど関係者の資質向上やネットワークづくりに向けた研修等を実施し、参加者間の交流の機会の創出に取り組みました。【再掲】



政策項目No.11【知育】児童生徒の確かな学力を育みます

- ①具体的推進方策指標14指標は、実績値が未確定等の1指標を除き、達成度A、Bが11指標、C、Dの指標が2指標です。
- ②達成度Dの指標は、「生徒の進路実現に向け、自校で設定した進路目標を達成できた高校の割合」です。

・各高等学校が高い目標を掲げ、生徒の進路実現に向けて大学等との連携による探究的な学習の推進や、就業体験などに取り組みましたが、生徒が年度当初に希望していた進路を変更したことや個々の生徒の事情等の複合的な要因により、令和5年度から減少したためです。

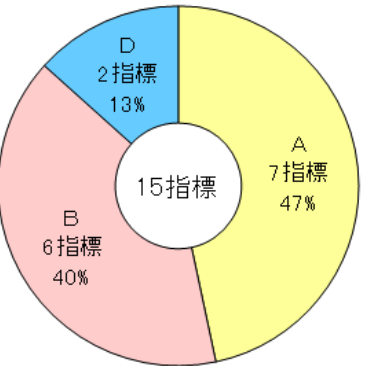


政策項目No.12【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます

- ①具体的推進方策指標15指標は、達成度A、Bが13指標、達成度Dが2指標です。
- ②達成度Dの指標は、「人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合（高校生）」及び「様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味がわいたと感じている児童生徒の割合（小学生、中学生）」です。

・教育課程全体を通じて道徳教育を推進してきたところ、肯定的な回答(「そう思う」又は「どちらかといえば、そう思う」)をした生徒の割合は98%と高い水準を示しているものの、生徒自身に思いやりの心を強く自覚させるには至らず、「そう思う」と回答した生徒の割合を増やすことができなかったためです。

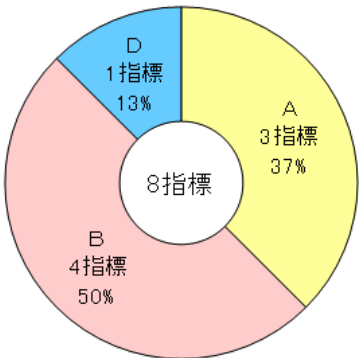
・鑑賞教室の実施等により、小学校、中学校ともに令和5年度を上回りましたが、各学校において学校行事の精選等の教育課程の見直しが進む中で、地域の郷土芸能団体や指導者の減少等の影響もあり、伝統芸能活動に取り組む機会が減少したためです。



政策項目No.13【体育】児童生徒の健やかな体を育みます

- ①具体的推進方策指標8指標は、達成度A、Bが7指標、達成度Dが1指標です。
- ②達成度Dの指標は、「朝食を毎日食べる児童生徒の割合（中学生）」です。

・60プラスプロジェクトの推進により、望ましい食習慣の形成等に取り組みましたが、スクリーンタイムの増加等による生活習慣の変化や朝食摂取の重要性の理解不足、家庭における朝食習慣の影響等があったためです。

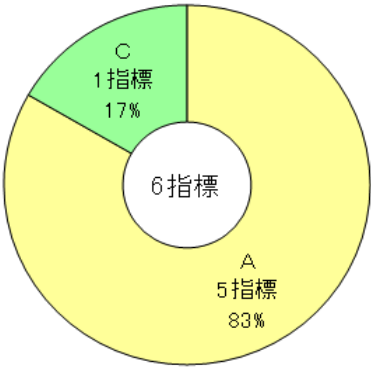


4 教育委員会所管の政策項目の具体的な推進方策の状況（つづき）

政策項目No.14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます

- ①具体的推進方策指標6指標は、達成度Aが5指標、達成度Cが1指標です。
- ②達成度Cの指標は、「いわて特別支援学校就労サポーター制度への登録者数」です。

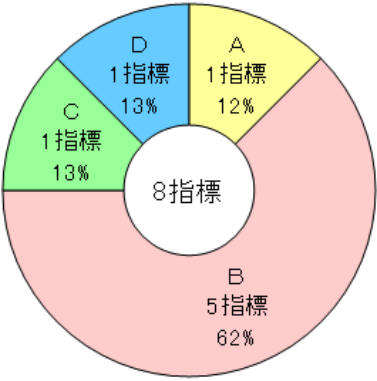
・ サポーター養成講座の広報等に取り組みましたが、令和6年度の養成講座実施校の中には山間部等人口が少ない地域の学校もあり、受講者数が例年より少なかったことなどにより、伸び悩んだためです。【再掲】



政策項目No.15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります

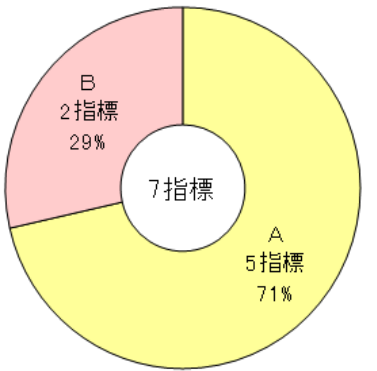
- ①具体的推進方策指標9指標は、実績値が未確定等の1指標を除き、達成度A、Bが6指標、達成度C、Dが2指標です。
- ②達成度Dの指標は、「学校が楽しいと思う（学校に満足している）児童生徒の割合（小学生）」です。

・ 学校生活満足度を高めるため、魅力ある学校づくりを目指し、各学校及び学校区において創意工夫をいかした取組を推進しましたが、子どもたちの多様化が進み、様々な困難や課題を抱える児童生徒が増える中、「魅力ある学校づくり」の具体的な手立てなどを行うことに困難が生じたためです。



政策項目No.16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます

- ①具体的推進方策指標7指標は、達成度A、Bが7指標です。
- ②推進方策「家庭教育を支える環境づくりの推進」では、「すこやか子育て相談」のチラシを作成・配布し、子育てに係る相談窓口の周知と利用促進を図りました。また、家庭教育・子育て支援に関わる地域人材の活用や多様な団体との連携・協力、協働を図るため、子育てサポーターなど関係者の資質向上やネットワークづくりに向けた研修等を実施し、参加者間の交流の機会の創出に取り組みました。【再掲】

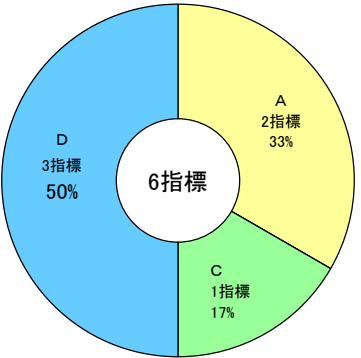


政策項目No.18 地域に貢献する人材を育てます

- ①具体的推進方策指標6指標は、達成度Aが2指標、達成度C、Dが4指標です。
- ②達成度Dの指標は、「中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合（高校生）」及び「自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合（小学生、中学生）」です。

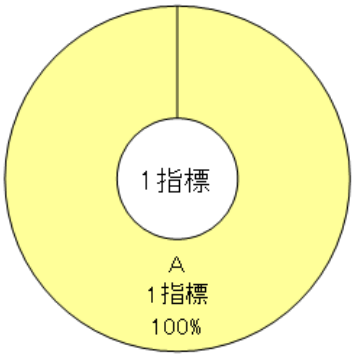
・ 英語の学習意欲を高めるような取組、質の高い言語活動を実施するための授業力向上や、指導と評価の一体化の充実を図る取組が十分ではなかったためです。

・ いわたの復興教育」などを推進しましたが、少子化により、地域活動等の継続が困難になっている地域が増えていることや、教育課程の見直しで地域と関わる学校行事が減少したことなどにより、自分の住む地域の良さを実感する機会を十分に確保することができなかったためです。



政策項目No.31 ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります

- ①具体的推進方策指標1指標は、達成度Aの指標が1指標です。
- ②推進方策「子育てと仕事の両立を図る家庭への支援」では、「すこやか子育て相談」のチラシを作成・配布し、子育てに係る相談窓口の周知と利用促進を図りました。また、家庭教育・子育て支援に関わる地域人材の活用や多様な団体との連携・協力、協働を図るため、子育てサポーターなど関係者の資質向上やネットワークづくりに向けた研修等を実施し、参加者間の交流の機会の創出に取り組みました。【再掲】

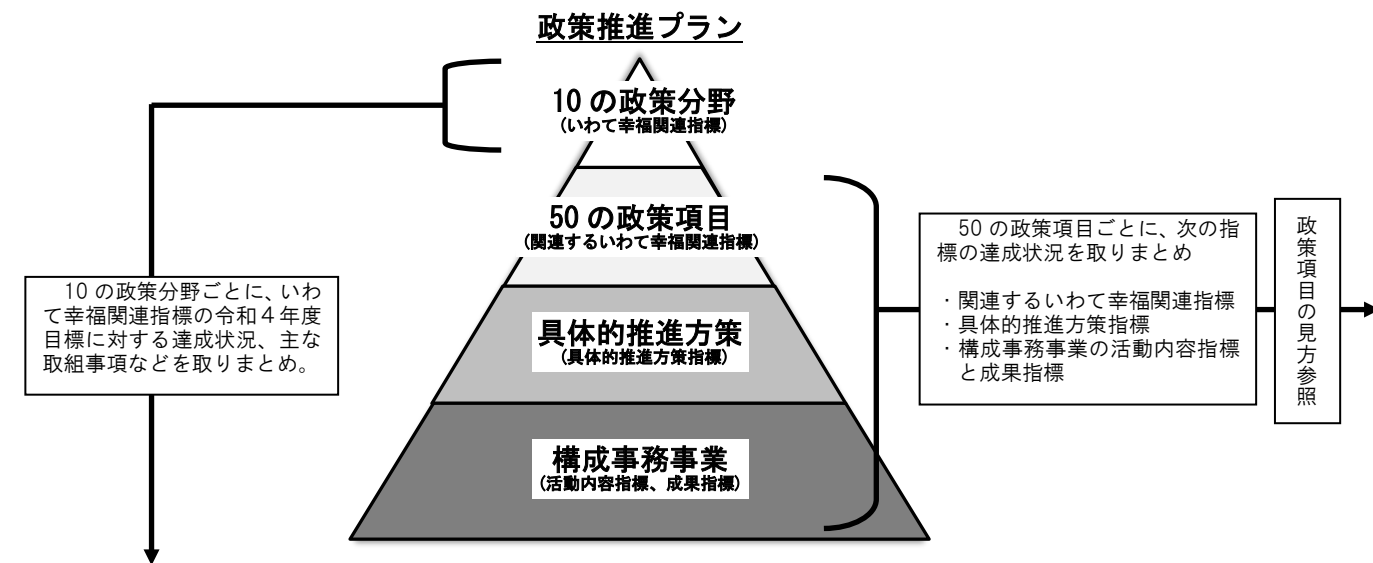


5 教育委員会所管の構成事業の状況

政策項目	活動内容指標（177指標）				成果指標（179指標）			
	A	B	C	D	A	B	C	D
5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります	15			4	10	8		
6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります	8		2		19			
7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます	7		2		9		1	
9 仕事と生活を両立できる環境をつくります	2		1		3			
11 【知育】 児童生徒の確かな学力を育みます	20		2		19	2		
12 【徳育】 児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます	9		1		7	5	2	1
13 【体育】 児童生徒の健やかな体を育みます	11	1	1		9	3		1
14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます	9	1			7	2		
15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります	11	1		1	8	2		
16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます	25	1		2	25	4	1	
18 地域に貢献する人材を育てます	26		2		27			
26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります	2				1	1		
40 世界遺産の保存と活用を進めます	2	1				1		
41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます	2	3		1	1			
46 安全・安心を支える社会資本を整備します	1							
計	150	8	11	8	145	28	4	2
割合	85%	5%	6%	5%	81%	16%	2%	1%

本書の見方

本書では、いわて県民計画（2019～2028）長期ビジョンに示した10の政策分野と、それを構成する50の政策項目について、各種指標の達成状況や県の取組状況などの情報を掲載しています。



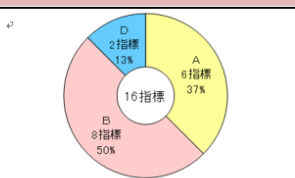
政策分野の見方

Ⅲ 教育

学びや人づくりによって、

将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手

いわて幸福関連指標の達成度



【概要】

- いわて幸福関連指標 16 指標は、達成度A、Bの指標が 14 指標(88%)、達成度Dの指標が2指標(12%)でした。
- ・ いわて幸福関連指標のうち、全国比較が可能な「体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合」は、中学生女子の全国順位が上昇、小学生男子・女子及び中学生男子は下降しました。

○政策分野名
10の政策分野名と政策分野の取組方向を記載

○いわて幸福関連指標の達成度
いわて幸福関連指標の達成度ごとの構成比と指標数を円グラフで表示
※構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。
○概要
いわて幸福関連指標の達成度の状況などを記載

いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R5)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考)全国順位(東北順位) R3 R5 比較
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 82.5	82.5	82.5	82.6	A	- - -
20 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	中 85.4	85.4	85.4	83.1	B	- - -
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 83.0	83.0	83.0	83.9	A	- - -
22 人が困っているときは、進んで助けようとする児童生徒の割合	%	中 83.5	83.5	83.5	82.9	B	- - -
23 人が困っているときは、進んで助けようとする児童生徒の割合	%	小 68	70	70	65	B	- - -
24 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	中 67	68	68	66	B	- - -
25 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	高 62	70	66	63	D	- - -
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 76.4	80.0	78.0	82.0	A	- - -
27 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	中 76.2	79.0	78.5	79.1	A	- - -
28 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	小 男子 68.9	70.0	70.0	67.6	B	10位(2位) 11位(2位) 下降(横ばい)
29 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	小 女子 79.1	80.0	80.0	77.3	B	8位(2位) 9位(2位) 下降(横ばい)
30 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	中 男子 74.8	75.0	75.0	72.7	B	5位(2位) 6位(2位) 下降(横ばい)
31 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	中 女子 88.8	90.0	90.0	85.8	B	7位(1位) 6位(1位) 上昇(横ばい)
32 特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	96.0	96.0	96.0	96.0	A	- - -
33 高卒者の県内就職率	%	74.1	84.5	84.5	-	-	教育関連以外のものは非表示としています。
34 将来の夢や目標を持って	%	小 82.1	84.0	83.0	83.8	A	- - -
35 いる児童生徒の割合	%	中 72.8	76.0	73.8	71.8	D	- - -
36 県内大学等卒業者の県内就職率	%	47.0	50.0	48.5	-	-	- - -

○いわて幸福関連指標の状況
いわて幸福関連指標の目標値や令和4年度の実績値などを記載

※囲み数字は掲載データの年度を表しています。
※実績値が確定しない等の指標及び順位を測定できない指標は「-」と表示しています。

○全国順位（東北順位）
いわて幸福関連指標の、全国順位・東北順位とR3現状値との比較を記載

○10 の政策分野に対応するいわて幸福関連指標の状況
 いわて幸福関連指標の指標名、目標値や令和6年度の目標に対する達成度などを記載
【達成度の計算式】
 ・通常の指標（R3 現状値から数値を上げる目標）

$$(R6 \text{実績値} - R3 \text{現状値}) / (R6 \text{目標値} - R3 \text{現状値}) \times 100$$
 ・マイナス指標（R3 現状値から数値を下げる目標）

$$(R3 \text{現状値} - R6 \text{実績値}) / (R3 \text{現状値} - R6 \text{目標値}) \times 100$$
 ・維持指標等（R3 現状値を維持する目標等）

$$(R6 \text{実績値}) / (R6 \text{目標値}) \times 100 \quad \text{又は} \quad (R6 \text{目標値}) / (R6 \text{実績値}) \times 100$$
 ※ なお、累計指標のうち、この計算式により難しい場合は、次の計算式により算出しています。

$$(R6 \text{実績値}) / (R6 \text{目標値}) \times 100$$

【特記事項】

- ・人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合（高校生）：各学校で教育活動全体を通じて道徳教育を推進する中で、人が困っているときは進んで助けようと思っている生徒の割合は増加傾向にあるものの、生徒自身に思いやりの心を強く自覚させるには至りませんでした。
- ・将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（中学生）：新型コロナウイルス感染症の影響で縮小・中断していた職場体験などは再開しつつあるものの、生徒に将来の夢や目標を実感させる学習活動の再構築が十分に進みませんでした。

○特記事項

達成度がCまたはDとなった「いわて幸福関連指標」に係る取組状況について、指標データ等により説明

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R6	備考
8	%	小 国語 50	42	-
9		小 算数 42	43	-
10		中 国語 37	44	-
11		中 数学 57	57	-
12	人	小 8.4	-	-
13		中 39.6	-	-
14		高 19.8	-	-

○参考指標

いわて幸福関連指標を補完するために設定した参考指標の状況

主な取組事項

- 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進。
 生徒の希望する進路の実現のため、大学等との連携による探究的な学習の推進や多様な大学入試制度に対応した進学支援の充実、産業界との連携による専門的な知識・技術の取得などに取り組みました。
 また、県内各地域の中核的な高等学校9校において、探究的な学習をSTEAM^{※1}の視点から深める取組を実施しました。
- 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成。
 教育振興運動と連携した自然体験・奉仕体験・職場体験等への参加促進、放課後子供教室における学習・体験プログラムの実施など、学校・家庭・地域が連携した多様な体験活動の充実に取り組みました。
- 適切な部活動体制の推進。
 令和元年8月策定の「岩手県における部活動の在り方に関する方針（改定版）」を全面的に改定し、令和6年1月に、「岩手県における学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針」を策定するとともに、県内及び全国のモデル事業について、情報提供を行いました。
 また、生徒のニーズを踏まえた充実した活動にするとともに、顧問教員の負担を軽減するため、スポーツ指導の知見を有する部活動指導員等の外部人材の活用により運営の適正化を図りました。
- 各校種における指導・支援の充実。
 地域における特別支援教育コーディネーター連絡会を県内4地区で開催し、特別支援学校、小中学校、教育事務所及び市町村教育委員会との連携体制の強化に取り組みました。
 また、各教育事務所において、特別支援教育中核コーディネーターを委嘱し、各市町村の実情に応じた特別支援教育体制の整備に取り組みました。
 児童生徒の相互理解が促進されるよう、「交流籍^{※2}」を活用した特別支援学校と小中学校の児童生徒の交流及び共同学習に取り組みました。

○主な取組事項

10 の政策分野ごとに取り組んだ主な内容を取りまとめて記載

政策項目の見方

Ⅲ 教育

12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます

（基本方向）

児童生徒一人ひとりが、自他の生命（いのち）を大切に、人権を尊重する心や良好な人間関係を構築できる協調性を育むため、多様な価値観を認め合う機会や教育振興運動と連携した他者との協働活動等の充実により、これからの社会における多様性や様々な課題等に対応した道徳教育及び人権教育を進めるとともに、家庭や地域との協働によるボランティア活動や読書活動の充実により、思いやりの心や感動する心を育成します。

また、生涯にわたり心豊かに生活する基盤をつくるため、文化芸術活動等の鑑賞・体験の機会の充実や、文化部活動の活性化により、学校における文化芸術教育を推進します。

さらに、主体的に社会の形成に参画する態度を養うため、主権者教育や消費者教育などの推進により、主権者としての自覚と政治的教養の育成や、自立した消費者として合理的に意思決定できる力などを育成します。

【概要】

○ 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 5 指標は、達成度 A、B の指標が 4 指標（80%）、達成度 D の指標が 1 指標（20%）でした。

・ 具体的推進方策指標 15 指標は、達成度 A、B の指標が 13 指標（87%）、達成度 D の指標が 2 指標（13%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度	参考) 全国順位 (東北順位)		
							R3	R6	比較
23 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 68	70	70	65	B	-	-	-
24		中 67	68	68	65	B	-	-	-
25		高 62	70	67	61	D	-	-	-
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 76.4	80.0	78.0	80.6	A	-	-	-
27		中 76.2	79.0	78.5	81.8	A	-	-	-

【特記事項】

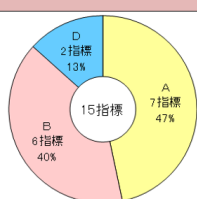
・ 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合（高校生）：肯定的な認識を持つ生徒の割合は 98% と高い水準を維持しているものの、生徒自身に思いやりの心を強く自覚させるには至らず、伸び悩みました。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R6	備考
12		小 8.4	-	-
13 不登校児童生徒数(千人当たり)	人	中 39.6	-	-
14		高 19.8	-	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度



説明

具体的推進方策指標 15 指標は、達成度 A、B の指標が 13 指標（87%）、達成度 D の指標が 2 指標（13%）でした。

○ 具体的推進方策指標の達成度

政策項目ごとの具体的推進方策指標の達成度の構成比と指標数を円グラフで表示
※構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。

【達成度の計算式】

・ 通常の指標（R3 現状値等から数値を上げる目標）

$$(R6 \text{ 実績値} - R3 \text{ 現状値}) / (R6 \text{ 目標値} - R3 \text{ 現状値}) \times 100$$

・ マイナス指標（R3 現状値等から数値を下げる目標）

$$(R3 \text{ 現状値} - R6 \text{ 実績値}) / (R3 \text{ 現状値} - R6 \text{ 目標値}) \times 100$$

・ 維持指標（R3 現状値等を維持する目標）

$$(R6 \text{ 実績値}) / (R6 \text{ 目標値}) \times 100 \text{ 又は } (R6 \text{ 目標値}) / (R6 \text{ 実績値}) \times 100$$

※ 累計指標のうち、この計算式により難しい場合は、次の計算式により算出しています。

$$(R6 \text{ 実績値}) / (R6 \text{ 目標値}) \times 100$$

○ 政策分野名
10 の政策分野名を記載

○ 政策項目名
50 の政策項目名を記載

○ 政策項目の基本方向
政策項目に関して取り組む基本方向を記載

○ 概要
政策項目に関連するいわて幸福関連指標及び具体的推進方策指標の達成度の状況などを記載

○ いわて幸福関連指標の状況
政策項目に関連するいわて幸福関連指標の目標値や令和 6 年度の実績値などを記載

○ 全国順位（東北順位）
いわて幸福関連指標の、全国順位・東北順位と R3 現状値との比較を記載

○ 特記事項
政策項目の取組状況について、指標データ等により説明

○ 参考指標
参考指標の状況を記載

※ 囲み数字は掲載データの年度を表しています。
※ 実績値が確定しない等の指標及び順位を測定できない指標は「-」と表示しています。

○ 説明
具体的推進方策指標の達成度の状況などを記載

参考１：達成度の判定区分

目標達成率	100%以上	80%以上 100%未満	60%以上 80%未満	60%未満
達成度	達成【A】	概ね達成【B】	やや遅れ【C】	遅れ【D】

※ 実績値が未確定等の場合は「－」と表示しています。

※ 具体的推進方策指標と事務事業の成果指標が同じ場合がありますが、両者の計算式は異なる（具体的推進方策指標はR3現状値を踏まえ計算しているが、事務事業の成果指標はR6の実績値と目標値のみから計算）ため、達成度の評価が同一とならない場合があります。

参考２：本説明書で用いる記号

○ 指標名等で用いる記号

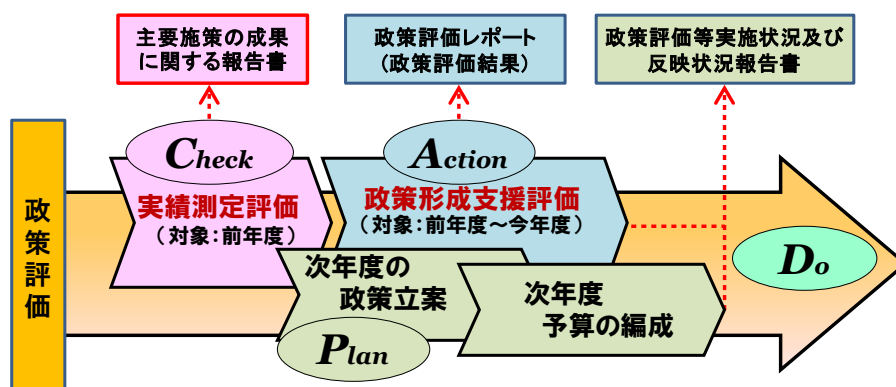
「▼」：R3現状値から数値を下げることを目標とする指標（マイナス指標）

「◆」：R3現状値等を維持することを目標とする指標（維持指標）

（記号を付していないものは、主にR3現状値から数値を上げることを目標とする指標（通常の指標）を示す。）

参考３：本書の位置付けについて

本報告書は政策評価のマネジメントサイクルのうち、「実績測定評価」部分の結果を取りまとめたものです。本報告書の内容を踏まえ、年度後半に実施する「政策形成支援評価」において、今回の指標達成状況と併せ、社会経済情勢等も含めた詳細な分析を行い、政策推進プランの施策に反映させていきます。

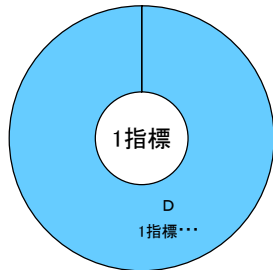


I 健康・余暇

健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、

また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手

いわて幸福関連指標の達成度



【概要】

- いわて幸福関連指標1指標は、達成度Dの指標が1指標（100%）でした。

いわて幸福関連指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
								R3	R6	比較
1	健康寿命〔平均自立期間〕	年	男性 ② 80.03	⑦ 81.00	⑤ 80.61	教育関連以外のものは非表示としています。				
2			女性 ② 84.59	⑦ 85.41	⑤ 85.08					
3	がん、心疾患及び脳血管疾患で死亡する人数〔10万人当たり〕	人	男性 ② 283.4	⑦ 245.8	⑤ 259.6					
4			女性 ② 154.5	⑦ 120.9	⑤ 128.1					
5	自殺者数〔10万人当たり〕	人	16.2	14.6	14.9					
6	75歳以上85歳未満高齢者の要介護認定率	%	12.3	11.3	11.7					
7	訪問診療(歯科含む)・看護を受けた患者数〔10万人当たり〕	人	② 6,508	⑦ 7,210	⑤ 6,921					
8	余暇時間〔一日当たり〕※1	分	372	382	382					
9	県内の公立文化施設における催事数※2	件	—	1,471	1,305					
10	スポーツ実施率	%	② 65.4	⑦ 70.0	⑤ 68.2					
11	生涯学習に取り組んでいる人の割合	%	46.1	50.0	48.0	44.7	D	—	—	—

※1 休日を含む1週間の平均

※2 岩手県内公立文化施設協議会加盟施設のうち、各市所在の主な14施設の催事数

【特記事項】

- ・ 生涯学習に取り組んでいる人の割合：生涯学習に取り組んでいる40代以下の割合は50%を超えており、50代の割合も前年度から増加しましたが、60代以上で減少したため、全体的な割合は低迷しました。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R6	備考
1 健康寿命〔日常生活に制限のない期間〕	年	男性 ① 71.39	教育関連以外のものは非表示としています。	3年ごとの公表
2 健康寿命〔日常生活に制限のない期間〕	年	女性 ① 74.69		3年ごとの公表
3 喫煙率	%	① 20.9		3年ごとの公表

主な取組事項

■ 多様な学習機会の充実

県立生涯学習推進センターを活用し、生涯学習や地域づくりに関する多様な研修や交流機会を提供するとともに、岩手県生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」の情報更新や研修講座の特設ページの拡充により学習情報提供の更なる充実に取り組みました。

■ 岩手ならではの学習機会の提供

県民一人ひとりの郷土に対する誇りや愛着を醸成するため、社会教育施設等において、本県の豊かな自然、文化、歴史等の資源をテーマとした講座を開催し、学習機会の提供に取り組みました。

また、県立図書館において、東日本大震災津波や防災等の学び合いスペース「Iールーム」を活用したワークショップの実施やレファレンス支援^{※5}、図書のセット貸出など、児童生徒やグループによる学び・探究等の支援に取り組みました。

■ 学びと活動の循環による地域の活性化

「学校を核とした地域づくり」に向けた研修会を開催し、コミュニティ・スクール^{※6}の導入・充実と教育振興運動や地域学校協働活動への参加促進に取り組むとともに、県立生涯学習推進センターにおいて、生涯学習・社会教育関係職員や指導者・ボランティアを対象とした地域づくりに関する研修や交流機会の提供等により、地域づくり人材の育成に取り組みました。

■ 社会教育の中核を担う人材の育成

県民の生涯を通じた学習活動を支援するため、社会教育関係者や地域づくり関係者、地域学校協働活動推進員などを対象とした研修会の開催や実践交流などを通じた指導者相互のネットワーク化の推進、ICTの活用促進などにより、社会教育の中核を担う人材の育成に取り組みました。

■ 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実

県民一人ひとりが学びたい時に学べる環境を提供するため、博物館等の県立社会教育施設のハード面、ソフト面の充実などを計画的に進め、幅広い学びのニーズに応じた学習機会を提供する拠点づくりに取り組みました。また、市町村が設置する公民館等の学びの拠点の発展のため、ニーズに応じた事業支援や優れた活動の周知・交流を積極的に進めました。

【用語解説】

※6 コミュニティ・スクール：学校運営協議会を設置する学校のこと、学校と保護者や地域の人々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることにより、連携・協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える仕組み。

II 家族・子育て

家族の形に応じたつながりや支え合いが育まれ、

また、安心して子育てをすることができる岩手

いわて幸福関連指標の達成度

【概要】

教育関連の指標はなし

いわて幸福関連指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
								R3	R6	比較
12	合計特殊出生率		1.30	1.58	1.42	教育関連以外のものは非表示としています。				
13	待機児童数〔4月1日時点〕	人	12	0	0					
14	地域の行事に参加している生徒の割合〔中学生〕	%	62.9	64.0	64.0					
15	総実労働時間〔年間〕	時間	1,761.6	1,633.0	1,684.4					
16	共働き世帯の男性の家事時間割合〔週平均〕※	%	39.2	50.0	45.0					
17	犬、猫の返還・譲渡率	%	犬 100	100	100					
18			猫 98.8	100	99.4					

※ 女性の家事時間に対する割合

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R6	備考
4 共働き男性の家事時間	分	125	教育関連以外のものは非表示としています。	-
5 共働き女性の家事時間	分	319		-
6 50歳時未婚率	%	男性 ② 29.61		5年ごとの公表
7 女性 ② 16.70				5年ごとの公表

主な取組事項

■ 家庭教育を支える環境づくりの推進

「すこやか子育て相談」のチラシを作成・配布し、子育てに係る相談窓口の周知と利用促進を図りました。

また、家庭教育・子育て支援に関わる地域人材の活用や多様な団体との連携・協力、協働を図るため、子育てサポーターなど関係者の資質向上やネットワークづくりに向けた研修等を実施し、参加者間の交流の機会の創出に取り組みました。

■ 学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり

教育振興運動 60 周年記念大会を開催し、地域と学校の連携・協働に関する先行事例や県の推進方針を周知しました。

また、地域と学校をつなぐコーディネート人材の配置の支援に取り組みました。

■ 豊かな体験活動の充実

令和 6 年 4 月に「教育振興運動推進プラン（2024～2028）」を策定し、「体験活動の充実」を全県共通課題の 1 つとし、連携協定締結企業との連携体制の構築を図るとともに、放課後子供教室等による体験活動、社会教育施設等を活用した自然体験活動など、子どもたちの体験活動の場の提供に取り組みました。

■ 県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進

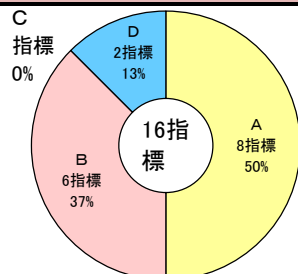
地域ぐるみで特別支援教育を支援する体制を構築するため、授業の補助や学校生活の支援を行う特別支援教育サポーターの養成に取り組むとともに、「岩手特別支援教育ボランティアバンク」の積極的な活用に向けた周知に取り組みました。

III 教育

学びや人づくりによって、

将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手

いわて幸福関連指標の達成度



【概要】

- いわて幸福関連指標 16 指標は、達成度A、Bの指標が 14 指標 (87%)、達成度Dの指標が2指標 (13%) でした。
- ・ いわて幸福関連指標のうち全国比較が可能な「体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合」は、小学校・中学校いずれでも男女ともに全国順位が下降しました。

いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度	参考) 全国順位(東北順位)		
							R3	R6	比較
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 82.5	82.5	82.5	83.8	A	-	-	-
20		中 85.4	85.4	85.4	83.2	B	-	-	-
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 83.0	83.0	83.0	87.2	A	-	-	-
22		中 83.5	83.5	83.5	88.7	A	-	-	-
23 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 68	70	70	65	B	-	-	-
24		中 67	68	68	65	B	-	-	-
25		高 62	70	67	61	D	-	-	-
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 76.4	80.0	78.0	80.6	A	-	-	-
27		中 76.2	79.0	78.5	81.8	A	-	-	-
28 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	小 男子 68.9	70.0	70.0	67.2	B	10 位 (2 位)	11 位 (2 位)	下降 (横ばい)
29		小 女子 79.1	80.0	80.0	74.4	B	8 位 (2 位)	10 位 (2 位)	下降 (横ばい)
30		中 男子 74.8	75.0	75.0	75.0	A	5 位 (2 位)	8 位 (2 位)	下降 (横ばい)
31		中 女子 88.8	90.0	90.0	83.9	B	7 位 (1 位)	9 位 (2 位)	下降 (下降)
32 特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	96.0	96.0	96.0	98.1	A	-	-	-
33 高卒者の県内就職率	%	74.1	84.5	84.5	教育関連以外のものは非表示としています。				
34 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	小 82.1	84.0	83.3	83.6	A	-	-	-
35		中 72.8	76.0	74.5	70.8	D	-	-	-
36 県内大学等卒業者の県内就職率	%	47.0	50.0	49.0	教育関連以外のものは非表示としています。				

【特記事項】

- ・ 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合（高校生）： 教育課程全体を通じて道徳教育を推進してきたところ、肯定的な回答（「そう思う」又は「どちらかといえば、そう思う」）をした生徒の割合は 98%と高い水準を示しているものの、生徒自身に思いやりの心を強く自覚させるには至らず、「そう思う」と回答した生徒の割合を増やすことができませんでした。
- ・ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（中学生）： 全国平均を上回りましたが、変化が激しく、先行き不透明な社会情勢の中、将来に不安を感じている生徒が一定数確認されました。

【参考指標】

調査項目		単位	現状値 (R3)	R6	備考
8	学力が全国水準未満の児童生徒の割合	%	小 国語 50	42	-
9			小 算数 42	55	-
10			中 国語 37	47	-
11			中 数学 57	59	-
12	不登校児童生徒数[千人当たり]	人	小 8.4	-	-
13			中 39.6	-	-
14			高 19.8	-	-

主な取組事項

■ これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成

いわて幼児教育センターを中心として、学びの連続性に配慮した就学前教育の充実にに向けた研修や訪問支援・指導を実施しました。

また、教育活動の質を向上させるため、県と市町村教育委員会が協議会を組織し、児童生徒1人1台端末の整備・更新やICTの活用の実践などの全県的な取組を進めました。

■ 児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実

授業改善の推進のため、諸調査の結果から学年や教科を超えた課題を洗い出し、全教職員で課題解決を図りました。また、各教科で解決すべき課題について、校種を超えた学習内容の系統性を踏まえて解決を図りました。

■ 自他の生命を大切にし、人権を尊重する心の育成

道徳科を要とした道徳教育や他者の人権を尊重する人権教育の推進に向け、教員育成指標に基づいた基本研修の内容の充実を図るとともに、「道徳教育啓発リーフレット」や「人権教育啓発リーフレット」を作成し、多様な価値観を認め合う道徳性の涵養や人権意識の醸成に向けた道徳教育及び人権教育の充実に取り組みました。

■ 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成

教育振興運動60周年を契機とした機運醸成を図るとともに、教育振興運動推進プラン（2024～2028）を策定し、学校・家庭・地域が連携した多様な体験活動の充実に取り組みました。

■ 児童生徒の健康の保持・増進に向けた対策の充実

運動習慣、食習慣及び生活習慣の一体的な改善に向け「チャレンジカード^{*1}」の活用などによる「60（ロクマル）プラスプロジェクト^{*2}」を推進したほか、令和6年5月に「岩手県立学校熱中症対策ガイドライン」を策定し、児童生徒等の命や健康を守る体制整備等に取り組みました。

■ 適切な部活動体制の推進

適切な休養日の設定、体罰や暴言のない適切な指導、部活動指導員等の外部人材の活用を行い、部活動運営の適正化に取り組みました。

また、中学生や保護者等を対象とした事例発表やワークショップ等を行い、学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けた情報発信に取り組みました。

■ 各校種における指導・支援の充実

小・中・高等学校と特別支援学校の児童生徒の相互理解が促進されるよう、居住地校での交流及び共同学習や、学校間交流を実施しました。

また、小・中・高等学校における特別支援教育の指導の充実につながるよう、小・中・高等学校職員も参加できる特別支援学校の公開授業研修会や研修会を実施しました。

■ いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対処

いじめの未然防止、早期発見・適切な対応を推進するため、県立学校で実施している1人1台端末等を利用した教育相談「こころの相談室」の市町村立学校における利用促進、「心の健康観察」の活用など、悩みや不安を抱える児童生徒がいつでも相談できる体制を構築するとともに、関係機関等と連携を図りながら、児童生徒の心のサポートに取り組みました。

■ 児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進

教育相談体制の充実と適切な支援につなげるため、24時間子供SOSダイヤル、教育相談「こころの相談室」、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置のほか、新たに県教育支援センター「ふれあいルーム」分室を県立図書館内に設置しました。

また、不登校児童生徒支援連絡会議において、教育支援センターやフリースクール等の様々な関係機関と連携を図ったほか、上記連絡協議会が主催となり不登校支援フォーラムを開催し、不登校児童生徒の教育機会の確保に取り組みました。

■ 安全でより良い教育環境の整備

通学時の児童生徒の安全を確保するため、市町村のスクールガードリーダー等の配置への支援や自転車の安全対策に取り組みました。

また、二戸地区における新たな小中高等部一貫の特別支援学校の整備、県立学校のトイレ洋式化など学校施設・設備の計画的な整備を進めるとともに、統合型校務支援システム^{※3}の導入やスクールロイヤーの配置など、教職員の業務負担軽減と効率化に取り組みました。

「新たな県立高等学校再編計画後期計画」に基づく取組を着実に推進するとともに、次期県立高等学校再編に向けた「県立高校の在り方～長期ビジョン～」の策定に取り組みました。

■ 多様な教育ニーズに対応する教育機会の確保

不登校児童生徒一人ひとりの状況に応じた支援を行うため、市町村が教育支援センターを設置するために必要な経費の補助を行うなど、不登校児童生徒の教育機会の確保に取り組みました。

また、県立高等学校入学選抜において、調査書を評価の対象としない「チャレンジ枠」を導入するなど、様々な事情を抱える生徒への支援の充実に取り組みました。

■ 教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上

岩手の教育を担う有為な人材の確保のため、大学3年生選考の新設や大学推薦特別選考の拡充など採用選考の大幅な見直しを図るとともに、県内外の大学生を対象とした大学訪問やオンライン説明会による情報発信の強化や、教職に就いたことのない教員免許所有者を対象としたペーパーティーチャー説明会の実施に取り組みました。

また、教員が意欲をもって働き続けることができるよう、持続可能な勤務環境の整備に取り組むとともに、「再発防止「岩手モデル」^{※4}」の策定・周知により、教職員の意識向上に取り組みました。

■ 「いわての復興教育^{※5}」などの推進

「いわての復興教育」プログラムに基づく各学校の復興教育の取組を支援するとともに、児童生徒実践発表会におけるいわての復興教育スクールの成果の共有、修学前児童向けの絵本の作成など、児童生徒の発達段階に応じた復興教育を推進しました。

また、震災の経験や教訓を引き継ぐため、副読本（中学校用）と絵本「だいじなもの」の英語版の作成・ホームページへの掲載、県立図書館内の「I ルーム^{※6}」の活用などにより、情報発信に取り組みました。

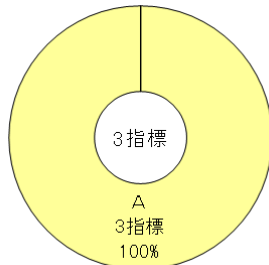
【用語解説】

- ※1 チャレンジカード：児童生徒の健康の保持増進に向けて、運動習慣、食習慣及び生活習慣の各取組を記録するために、県教育委員会が各学校へ配付しているカード。
- ※2 60（ロクマル）プラスプロジェクト：子ども達の「健やかな体の育成」に向けて、児童生徒一人ひとりのよりよい生活の確立を図るために実施している、各学校において運動習慣、食習慣及び生活習慣を相互に関連づけた一体的な取組を推進する事業。
- ※3 統合型校務支援システム：「教務系（成績処理、出欠管理、時数管理等）・保健系（健康診断票、保健室来室管理等）、学籍系（指導要録等）、学校事務系など統合した機能を有しているシステム」を指し、成績処理等だけでなく、グループウェアの活用による情報共有も含め、広く「校務」と呼ばれる業務全般を実施するために必要となる機能を実装したシステム。
- ※4 再発防止「岩手モデル」：教職員等による児童生徒に対する暴力や暴言及びハラスメント等不適切な指導の根絶に向け、令和6年5月に策定。
- ※5 いわての復興教育：東日本大震災津波の体験を踏まえ、県内全ての学校が、それぞれの実情に応じて取り組むことができる教育プログラムを作成・普及することにより、子どもたち自らの未来を切り拓く力を育むとともに、県内の全ての学校が心を1つにして震災を見つめ、郷土を愛し、いわての復興・発展を担う「ひとつづくり」を進めていくための教育。
- ※6 I-ルーフ：東日本大震災津波や防災を含む今日的な課題について、児童生徒やグループによる学び・探究等を支援するため、令和5年11月に岩手県立図書館に設置した震災・防災等の学び合いスペース。

VII 歴史・文化

豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手

いわて幸福関連指標の達成度



【概要】

- いわて幸福関連指標1指標は、達成度Aの指標1指標（100%）でした。
- ・ いわて幸福関連指標のうち全国比較が可能な「国、県指定文化財件数」は、全国順位が上昇しました。

いわて幸福関連指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
								R3	R6	比較
64	世界遺産等の来訪者数	千人	417	991	805	教育関連以外のものは非表示としています。				
65	国、県指定文化財件数	件	574	589	583	588	A	31 位 (3 位)	30 位 (3 位)	上昇 (横ばい)
66	民俗芸能ネットワーク加盟団体数	団体	393	393	393	教育関連以外のものは非表示としています。				

主な取組事項

5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります

（基本方向）

生涯を通じて楽しく学ぶことができ、一人ひとりの学びをコミュニティの再生・維持・向上や地域の課題解決に役立てていくため、ＩＣＴを活用した学習情報の提供や、令和６年度に６０周年を迎える教育振興運動と地域学校協働活動を総合的かつ一体的に推進することにより、学習機会の充実を図り、学びの成果を地域の活性化につなげる仕組みづくりを推進します。

また、県民一人ひとりの郷土に対する誇りや愛着を醸成するため、自然、文化、歴史など、あらゆる資源を学びの対象や場とすることにより、岩手ならではの学びの提供に取り組みます。

さらに、誰もが学びたい時に学べる環境を整備するため、社会教育の中核を担う人材を育成するとともに、多様な学びのニーズに応じた社会教育施設の充実を図ります。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 1 指標は、達成度 D の指標が 1 指標（100%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標 10 指標は、達成度 A、B の指標が 10 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

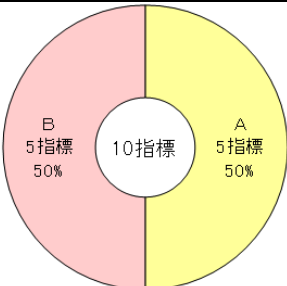
指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
								R3	R6	比較
8	余暇時間[一日当たり]※1	分	372	382	382	教育関連以外のものは非表示としています。				
11	生涯学習に取り組んでいる人の割合	%	46.1	50.0	48.0	44.7	D	-	-	-

※1 休日を含む 1 週間の平均

【特記事項】

- ・ 生涯学習に取り組んでいる人の割合：生涯学習に取り組んでいる 40 代以下の割合は 50%を超えており、50 代の割合も前年度から増加しましたが、60 代以上で減少したため、全体的な割合は低迷しました。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	具体的推進方策指標 10 指標は、達成度 A、B の指標が 10 指標（100%）でした。

(1) 多様な学習機会の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
58 生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数	人	885	1,030	970	975	A
59 生涯学習情報提供システム(データベース)利用件数	件	4,166	6,180	5,820	5,794	B
60	%	小 89	90	90	85	B
61 「読書が楽しい」と感じる児童生徒の割合		中 85	85	85	81	B
62		高 84	85	85	80	B

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	391	380	50	10	0	320	5 (72%)	0 (0%)	1 (14%)	1 (14%)	4 (45%)	4 (45%)	1 (10%)	0 (0%)

(2) 岩手ならではの学習機会の提供

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
63 県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした講座の受講者数	人	678	1,200	1,100	1,721	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	1,043	1,043	0	105	0	938	3 (75%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (25%)	2 (50%)	2 (50%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 学びと活動の循環による地域の活性化

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
64 教育振興運動や地域学校協働活動を推進している市町村・地区の割合	%	95.7	95.7	95.7	94.5	B

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	115	104	50	0	0	54	3 (75%)	0 (0%)	1 (25%)	0 (0%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) 社会教育の中核を担う人材の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
65 社会教育指導員・地域づくり関係者の資質向上を図る研修会の受講者数	人	107	160	140	161	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	15	15	0	10	0	5	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)

(5) 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実

◆具体的推進方策指標の状況

	指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
66	県立博物館・県立美術館の企画展における観覧者の満足度の割合	%	91	91	91	96	A
67	県立青少年の家・野外活動センターにおける利用者の満足度の割合	%	—	97	97	99	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
6	1,399	1,397	0	110	0	1,287	5 (83%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (17%)	4 (67%)	2 (33%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎ 県民意識調査の結果

- 令和7年県民意識調査によると、「自分に適した内容や方法で学べる環境」の重要度は49位、満足度は37位となり、ニーズ度は43位となっています。



6 安心して子どもを産み育てられる環境をつくれます

（基本方向）

安心して子どもを産み育てられる環境をつくるため、結婚、妊娠、出産、子育て期にわたる切れ目のない支援体制の充実や子育てにやさしい職場づくりを進めます。

また、子どもが、生まれ育った環境に左右されず、安心して学ぶことができるよう、教育の機会を確保するとともに、障がい児とその家族の多様なニーズに対応した地域療育支援体制の一層の充実を図ります。

【概要】

- ・ 具体的推進方策指標 3 指標は、達成度 A の指標が 3 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R6	比較
12 合計特殊出生率		1.30	1.58	1.42					
13 待機児童数〔4月1日時点〕	人	12	0	0					

教育関連以外のものは非表示としています。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	具体的推進方策指標 3 指標は、達成度 A の指標が 3 指標（100%）でした。

（1）結婚・家庭・子育てに希望を持てる環境づくりの推進

—

（2）安全・安心な出産環境の整備

—

(3) 子育て家庭への支援

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
75 放課後児童クラブの待機児童数(5月時点)	人	142	0			
76 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	67.0	90.0	80.0	80.4	A
77 保育士・保育所支援センターマッチング件数〔累計〕	件	114	456			
78 いわて子育てにやさしい企業等認証の認証数〔累計〕	事業者	75	515			
79 いわて働き方改革推進運動参加事業者数〔累計〕【再掲】	事業者	680	1,350			

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
8	399	341	171	5	35	130	7 (64%)	1 (9%)	2 (18%)	1 (9%)	6 (55%)	1 (9%)	2 (18%)	2 (18%)

(4) 子どもが健やかに成長できる環境の整備

—

(5) 障がい児の地域療育支援体制の充実

—

(6) 家庭教育を支える環境づくりの推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
88 すこやかメールマガジンの登録人数	人	3,635	6,000	5,000	5,002	A
89 子育てサポーター等を対象とした家庭教育支援に関する研修会の参加者数	人	559	645	625	1,044	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
2	116	106	51	0	0	55	3 (75%)	0 (0%)	1 (25%)	0 (0%)	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎ 県民意識調査の結果

- ・ 令和7年県民意識調査によると、「安心な子育て環境整備」の重要度は23位、満足度は39位となり、ニーズ度は16位となっています。



7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます

（基本方向）

「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」を実現するため、令和6年度に60周年を迎える教育振興運動と地域学校協働活動を総合的かつ一体的に推進することにより、学校・家庭・地域が連携・協働する仕組みづくりを進めます。

また、子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験活動ができるよう、放課後子供教室等により、地域の実状に応じた子どもの学びの場づくりを支援します。

さらに、特別支援教育に対する県民理解の醸成や参加促進を図るため、特別支援教育サポーターの養成などにより、障がいに関する正しい理解や「共に学び、共に育つ教育」の推進に向けた啓発活動に取り組みます。

【概要】

- ・ 具体的推進方策指標7指標は、実績値が測定できない2指標を除き、達成度A、Bの指標が4指標（80%）、達成度Cの指標が1指標（20%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R6	比較
14 地域の行事に参加している生徒の割合〔中学生〕	%	62.9	64.0	64.0			教育関連以外のものは非表示としています。		

【特記事項】

- ・ 地域の行事に参加している生徒の割合〔中学生〕：国の調査内容が変更となったため、実績値は測定できませんでした。

2 県の実践（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	具体的推進方策指標7指標は、実績値が測定できない2指標を除き、達成度A、Bの指標が4指標（80%）、達成度Cの指標が1指標（20%）でした。

(1) 学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
90 コミュニティ・スクールを導入している学校の割合	%	19.0	90.0	80.0	92.4	A
91 保護者や地域住民による教育支援活動が行われている学校の割合	%	小 ⑤ 95.9	95.9	95.9	—	—
92		中 57.8	90.0	88.0	—	—
93 教育振興運動や地域学校協働活動を推進している市町村・地区の割合	%	95.7	95.7	95.7	94.5	B

【特記事項】

- ・ 保護者や地域住民による教育支援活動が行われている学校の割合：国の調査内容が変更となったため、実績値は測定できませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
3	116	104	50	0	0	54	3 (75%)	0 (0%)	1 (25%)	0 (0%)	4 (80%)	0 (0%)	1 (20%)	0 (0%)

(2) 豊かな体験活動の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
94 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合	%	67.0	90.0	80.0	80.4	A
95 放課後児童クラブの待機児童数(5月時点)【再掲】	人	142	0	60		
96 県立青少年の家・野外活動センターが提供する親子体験活動事業への参加者の満足度の割合	%	—	98	98	100	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
1	114	102	50	0	0	51	2 (67%)	0 (0%)	1 (33%)	0 (0%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
97 特別支援教育サポーターの登録者数【再掲】	人	335	480	420	394	C

【特記事項】

- ・ 特別支援教育サポーターの登録者数：特別支援教育サポーター養成講座の広報等に取り組みましたが、令和6年度の養成講座実施校の中には山間部等人口が少ない地域の学校もあり、受講者数が例年より少なかったことなどにより、登録者数が伸び悩みました。

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
1	1	1	0	0	0	1	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- ・ 令和7年県民意識調査によると、「子どもの育ちと学びに関する学校、家庭、地域の連携」の重要度は30位、満足度は19位となり、ニーズ度は36位となっています。



9 仕事と生活を両立できる環境をつくります

（基本方向）

仕事と生活を両立できる環境をつくるため、長時間労働の是正、年次有給休暇の取得率向上等の働き方改革や、育児休業・介護休業制度の普及促進等により、性別を問わず一人ひとりの事情に対応できる、働きやすい職場づくりを推進します。

【概要】

- ・ 具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度	参考) 全国順位(東北順位)		
							R3	R6	比較
13 待機児童数[4月1日時点]	人	12	0	0	教育関連以外のものは非表示としています。				
15 総実労働時間[年間]	時間	1,761.6	1,633.0	1,684.4					
16 共働き世帯の男性の家事時間 割合[週平均]※	%	39.2	50.0	45.0					

※ 女性の家事時間に対する割合

2 県の実績（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

（1）働き方改革の実績の推進

(2) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
107 放課後児童クラブの待機児童数(5月時点)【再掲】	人	142	0			
108 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	67.0	90.0	80.0	80.4	A
109 保育士・保育所支援センターマッチング件数〔累計〕【再掲】	件	114	456			
110 いわて子育てにやさしい企業等認証の認証数〔累計〕【再掲】	事業者	75	515			

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
5	1,043	889	158	5	0	726	5 (63%)	1 (12%)	2 (25%)	0 (0%)	6 (67%)	0 (0%)	2 (22%)	1 (11%)

(3) いきいきと働き続けるための健康づくりの推進

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- 令和7年県民意識調査によると、「仕事と生活を両立できる環境」の重要度は15位、満足度は42位となり、ニーズ度は10位となっています。

11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます

（基本方向）

将来の予測が困難な時代において、子どもたち一人ひとりに未来の創り手となるために必要な資質・能力が求められていることから、教育におけるＤＸや学校と地域の「共創」による学びなどを進め、岩手の子どもたちの、主体的に学び他者との協働により学びを深め新たな価値を創造し、地域を活性化する力を育成します。

また、学習指導要領等を着実に実施するとともに、学校、家庭、地域が連携・協働しながら、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 4 指標は、達成度 A、B の指標が 4 指標（100%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標 14 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A、B の指標が 11 指標（85%）、達成度 C、D の指標が 2 指標（15%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	計画目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R6	比較
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 82.5	82.5	82.5	83.8	A	-	-	-
20		中 85.4	85.4	85.4	83.2	B	-	-	-
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 83.0	83.0	83.0	87.2	A	-	-	-
22		中 83.5	83.5	83.5	88.7	A	-	-	-

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R6	備考
8	%	小 国語 50	42	-
9		小 算数 42	55	-
10		中 国語 37	47	-
11		中 数学 57	59	-

2 県の実施（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
具体的推進方策指標 14 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A、B の指標が 11 指標（85%）、達成度 C、D の指標が 2 指標（15%）でした。	具体的推進方策指標 14 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A、B の指標が 11 指標（85%）、達成度 C、D の指標が 2 指標（15%）でした。

(1) これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
116	教育課程全体で「話すこと」「書くこと」等の言語活動の充実を図っている学校の割合	%	小 ー	53	51	47	B
117			中 ー	45	43	40	B
118			高 ー	88	86	84	B
119	児童生徒の資質・能力の向上に向けて、「確かな学力育成プラン」に基づいて組織的に取り組んでいる学校の割合	%	小 ー	67	65	69	A
120			中 ー	56	54	51	B
121	「幼児期の終わりまで育ってほしい姿」をもとに幼児児童の姿を共有し、授業に生かしている小学校の割合	%	ー	100	80	87	A
122	授業等でICT機器を活用し、児童生徒にICT活用について指導できる教員の割合	%	78	90	82	ー	ー

【特記事項】

- ・ 授業等でICT機器を活用し、児童生徒にICT活用について指導できる教員の割合：総合教育センターにおける教員向け研修や、県と市町村の教育長で構成する岩手県学校教育DX・学力育成協議会などを通じ、ICT活用の推進に取り組みましたが、国の調査結果が未公表のため、実績値は測定できませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数														
事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
9	228	220	170	0	4	46	9 (90%)	0 (0%)	1 (10%)	0 (0%)	8 (89%)	1 (11%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
123	諸調査結果や日々の授業から明らかになった児童生徒のつまずきに着目した授業改善を行っている学校の割合	%	小 ー	58	54	51	B
124			中 ー	48	44	30	C
125			高 ー	82	80	82	A
126	学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいる児童生徒の割合	%	小 ー	66	64	59	B
127			中 ー	60	58	52	B
128			高 ー	55	53	52	B

【特記事項】

- ・ 諸調査結果や日々の授業から明らかになった児童生徒のつまずきに着目した授業改善を行っている学校の割合(中学校):「どちらかといえば行っている」学校を合わせると、95.9%となり、令和5年度から増加しましたが、学校は生徒一人一人に対し丁寧に個別対応をするだけでなく、諸調査結果の分析等に基づき組織的に授業改善に取り組む必要があるという意識の浸透が十分ではありませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
3	19	19	0	1	0	18	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (67%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
129 生徒の進路実現に向け、自校で設定した進路目標を達成できた高校の割合	%	66	70	68	64	D

【特記事項】

- ・ 生徒の進路実現に向け、自校で設定した進路目標を達成できた高校の割合：各高等学校が高い目標を掲げ、生徒の進路実現に向けて大学等との連携による探究的な学習の推進や、就業体験などに取り組みましたが、生徒が年度当初に希望していた進路を変更したことや個々の生徒の事情等の複合的な要因により、令和5年度から減少しました。

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
8	235	222	168	16	0	38	8 (89%)	0 (0%)	1 (11%)	0 (0%)	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- ・ 令和7年県民意識調査によると、「子どもの学力向上に向けた教育」の重要度は25位、満足度は30位となり、ニーズ度は26位となっています。



12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます

（基本方向）

児童生徒一人ひとりが、自他の生命（いのち）を大切にし、人権を尊重する心や良好な人間関係を構築できる協調性を育むため、多様な価値観を認め合う機会や教育振興運動と連携した他者との協働活動等の充実により、これからの社会における多様性や様々な課題等に対応した道徳教育及び人権教育を進めるとともに、家庭や地域との協働によるボランティア活動や読書活動の充実により、思いやりの心や感動する心を育成します。

また、生涯にわたり心豊かに生活する基盤をつくるため、文化芸術活動等の鑑賞・体験の機会の充実や、文化部活動の活性化により、学校における文化芸術教育を推進します。

さらに、主体的に社会の形成に参画する態度を養うため、主権者教育や消費者教育などの推進により、主権者としての自覚と政治的教養の育成や、自立した消費者として合理的に意思決定できる力などを育成します。

【概要】

○ 政策項目に関連するいわて幸福関連指標5指標は、達成度A、Bの指標が4指標（80%）、達成度Dの指標が1指標（20%）でした。

- ・ 具体的推進方策指標15指標は、達成度A、Bの指標が13指標（87%）、達成度Dの指標が2指標（13%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R6	比較
23 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 68	70	70	65	B	-	-	-
24		中 67	68	68	65	B	-	-	-
25		高 62	70	67	61	D	-	-	-
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 76.4	80.0	78.0	80.6	A	-	-	-
27		中 76.2	79.0	78.5	81.8	A	-	-	-

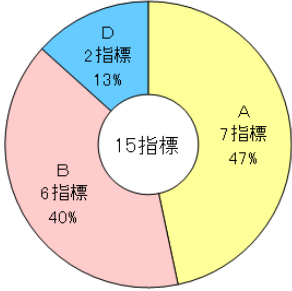
【特記事項】

- ・ 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合（高校生）：教育課程全体を通じて道徳教育を推進してきたところ、肯定的な回答（「そう思う」又は「どちらかといえば、そう思う」）をした生徒の割合は98%と高い水準を示しているものの、生徒自身に思いやりの心を強く自覚させるには至らず、「そう思う」と回答した生徒の割合を増やすことができませんでした。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R6	備考
12	人	小 8.4	-	-
13 不登校児童生徒数[千人当たり]		中 39.6	-	-
14		高 19.8	-	-

2 県の実施（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
 具体的推進方策指標 15 指標は、達成度 A、B の指標が 13 指標（87%）、達成度 D の指標が 2 指標（13%）でした。	

（1） 自他の生命を大切にし、人権を尊重する心の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
130	%	小 ー	80	78	73	B
131		中 ー	84	82	76	B
132		高 ー	90	90	87	B

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト（百万円）						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	3	2	2	0	0	0	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)

（2） 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
133	%	小 ー	88	86	90	A
134		中 ー	88	86	89	A
135		高 ー	90	90	92	A
136	%	小 89	90	90	85	B
137		中 85	85	85	81	B
138		高 84	85	85	80	B

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト（百万円）						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	1	1	0	0	0	1	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (60%)	2 (40%)	0 (0%)

(3) 学校における文化芸術教育の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
139	%	小 69	75	73	71	D
140		中 65	72	70	65	D
141		高 68	86	79	80	A

【特記事項】

- 様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味がわいたと感じている児童生徒の割合（小学生、中学生）：鑑賞教室の実施等により、小学校、中学校ともに令和5年度を上回りましたが、各学校において学校行事の精選等の教育課程の見直しが進む中で、地域の郷土芸能団体や指導者の減少等の影響もあり、伝統芸能活動に取り組む機会が減少しました。

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
5	71	63	14	2	0	47	4 (80%)	0 (0%)	1 (20%)	0 (0%)	6 (75%)	1 (12%)	0 (0%)	1 (12%)

(4) 主権者教育などによる社会に参画する力の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
142	%	小 ー	86	84	86	A
143		中 ー	86	84	88	A
144		高 ー	86	84	85	A

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
1	2	2	2	0	0	0	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- 令和7年県民意識調査によると、「人間性豊かな子どもの育成」の重要度は8位、満足度は20位となり、ニーズ度は14位となっています。

13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます

（基本方向）

児童生徒一人ひとりが自らの体力や健康に関心を持ち、生涯を通じて健康で活力ある生活を送ることができるよう、家庭や地域などと連携し、「よりよい運動習慣」「望ましい食習慣」「規則正しい生活習慣」の形成による健康の保持・増進に向けて、各習慣を相互に関連付けた一体的な取組を推進します。

また、「岩手県における部活動の在り方に関する方針」に基づき、適切な部活動の推進に取り組めます。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 4 指標は、達成度 A、B の指標が 4 指標（100%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標 8 指標は、達成度 A、B の指標が 7 指標（88%）、達成度 D の指標が 1 指標（12%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R6	比較
28	体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	小 男子 68.9	70.0	70.0	67.2	B	10 位 (2 位)	11 位 (2 位)	下降 (横ばい)
29		小 女子 79.1	80.0	80.0	74.4	B	8 位 (2 位)	10 位 (2 位)	下降 (横ばい)
30		中 男子 74.8	75.0	75.0	75.0	A	5 位 (2 位)	8 位 (2 位)	下降 (横ばい)
31		中 女子 88.8	90.0	90.0	83.9	B	7 位 (1 位)	9 位 (2 位)	下降 (下降)

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
具体的推進方策指標 8 指標は、達成度 A、B の指標が 7 指標（88%）、達成度 D の指標が 1 指標（12%）でした。	具体的推進方策指標 8 指標は、達成度 A、B の指標が 7 指標（88%）、達成度 D の指標が 1 指標（12%）でした。

(1) 児童生徒の健康の保持・増進に向けた対策の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
145 運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合	%	86	89	89	89	A
146 朝食を毎日食べる児童生徒の割合	%	小 96.6	97.0	97.0	95.6	B
147		中 89.2	93.0	91.0	88.0	D
148 毎日一定の時刻に就寝する児童生徒の割合	%	小 84.7	85.0	85.0	84.3	B
149		中 84.6	85.0	85.0	84.6	B
150 喫煙飲酒の指導を含めた「薬物乱用防止教室」を開催している小学校の割合	%	89.9	100	100	93.6	B

【特記事項】

- 朝食を毎日食べる児童生徒の割合（中学生）：60（ロクマル）プラスプロジェクトの推進により、望ましい食習慣の形成等に取り組みましたが、スクリーンタイム※の増加等による生活習慣の変化や朝食摂取の重要性の理解不足、家庭における朝食習慣の影響等により、伸び悩みました。
- ※ テレビ、スマートフォン、パソコン、ゲーム機器等の利用時間。

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
5	6	5	2	1	0	2	5 (83%)	1 (17%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (72%)	1 (14%)	0 (0%)	1 (14%)

(2) 適切な部活動体制の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
151 部活動の活動方針について、学校、保護者、外部指導者等が、共通理解を図る部活動連絡会等の機会を持っている学校の割合	%	中 86.6	100	92.0	95.8	A
152		高 93.1	100	97.0	100	A

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
6	168	148	15	16	0	117	6 (86%)	0 (0%)	1 (14%)	0 (0%)	4 (67%)	2 (33%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- 令和7年県民意識調査によると、「子どもの体力向上や心身の健康保持」の重要度は20位、満足度は11位となり、ニーズ度は33位となっています。

14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます

（基本方向）

特別な支援を必要とする児童生徒一人ひとりの自立や社会参加を目指し、切れ目のない支援が行われるよう、「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の作成・活用などにより、就学前から卒業後までの一貫した支援を充実します。

また、全ての児童生徒が地域の学校で共に学ぶことができるよう、通級による指導や特別支援学級での指導の充実などにより、一人ひとりの教育的ニーズに対応するとともに、教職員の専門性の向上を図ります。

さらに、共生社会の形成に向け、県民向け公開講座の実施や特別支援教育サポーターの養成など、県民と協働した特別支援教育の体制づくりを推進します。

【概要】

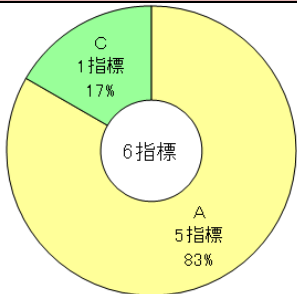
○ 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

- ・ 具体的推進方策指標 6 指標は、達成度 A の指標が 5 指標（83%）、達成度 C の指標が 1 指標（17%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R6	比較
32 特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	96.0	96.0	96.0	98.1	A	-	-	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	具体的推進方策指標 6 指標は、達成度 A の指標が 5 指標（83%）、達成度 C の指標が 1 指標（17%）でした。

（1）就学前から卒業後までの一貫した支援の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
153 「引継ぎシート」を活用し、進学時に円滑な引継ぎを行っている学校の割合	%	71	100	100	100	A
154 いわて特別支援学校就労サポーター制度への登録企業数	社	123	151	139	140	A

◆推進方を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	149	147	0	12	0	135	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (50%)	2 (50%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 各校種における指導・支援の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
155 交流籍※の活用や学校間交流等により交流及び共同学習を実施した児童生徒の割合	%	66	74	70	74	A
156 特別支援学校の授業研究会・研修会に参加した小・中学校等及び高等学校の教員数[累計]	人	454	1,030	780	879	A

※ 特別支援学校の小・中学部に在籍する児童生徒が、居住する地域の小・中・義務教育学校に副次的に置く。

◆推進方を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	54	53	0	1	0	52	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 教育環境の充実・県民理解の促進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
157 県立学校における医療的ケアが必要な児童生徒が、医療的ケア看護職員による医療的ケアを受けた割合	%	100	100	100	100	A
158 特別支援教育サポーターの登録者数	人	335	480	420	394	C

【特記事項】

- 特別支援教育サポーターの登録者数：特別支援教育サポーター養成講座の広報等に取り組みましたが、令和6年度の養成講座実施校の中には山間部等人口が少ない地域の学校もあり、受講者数が例年より少なかったことなどにより、登録者数が伸び悩みました。

◆推進方を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	551	252	44	1	111	96	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎ 県民意識調査の結果

- 令和7年県民意識調査によると、「全ての子どもが学べる環境」の重要度は19位、満足度は28位となり、ニーズ度は23位となっています。



15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります

（基本方向）

全ての児童生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるよう、「岩手県いじめ防止等のための基本的な方針」に基づくいじめ防止対策や、組織的な指導体制の充実により、いじめ事案への適切な対応に取り組みます。

また、不登校などの未然防止、早期発見・適切な対応を推進するため、ＩＣＴを活用した教育相談体制の一層の充実や関係機関と連携した教育機会の提供等により、児童生徒に寄り添った不登校対策を推進します。

さらに、児童生徒がデジタル社会等において健全な生活を送るため、情報モラル教育の推進や保護者への啓発活動などにより、児童生徒が適切な情報活用に関する能力や規範意識を身に付ける取組を推進します。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 3 指標は、達成度 B の指標が 2 指標（67%）、達成度 D の指標が 1 指標（33%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標 9 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A、B の指標が 6 指標（75%）、達成度 C、D の指標が 2 指標（25%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R6	比較
23 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 68	70	70	65	B	-	-	-
24		中 67	68	68	65	B	-	-	-
25		高 62	70	67	61	D	-	-	-

【特記事項】

- ・ 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合（高校生）：肯定的な認識を持つ生徒の割合は 98%と高い水準を維持しているものの、生徒自身に思いやりの心を強く自覚させるには至らず、伸び悩みました。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	具体的推進方策指標 9 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A、B の指標が 6 指標（75%）、達成度 C、D の指標が 2 指標（25%）でした。

(1) いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対処

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
159 いじめはいけないと思う児童生徒の割合	%	小 97.0	100	100	97.1	B
160		中 97.4	100	100	96.2	B
161 認知したいじめが解消した割合	%	98.1	100	100	-	-

【特記事項】

- 認知したいじめが解消した割合：各校において、いじめの解消に向け、被害児童生徒との面談を定期的に行うなど、被害児童生徒に寄り添った取組を推進しましたが、国の調査結果が未公表のため、実績値は測定できませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
2	10	10	1	1	0	8	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (67%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
162	%	小 87	91	89	85	D
163 学校が楽しいと思う(学校に満足している)児童生徒の割合		中 84	91	87	86	C
164		高 89	91	90	91	A

【特記事項】

- 学校が楽しいと思う(学校に満足している)児童生徒の割合(小学生、中学生)：学校生活満足度を高めるため、魅力ある学校づくりを目指し、各学校及び学校区において創意工夫をいかした取組を推進しましたが、子どもたちの多様化が進み、様々な困難や課題を抱える児童生徒が増える中、「魅力ある学校づくり」の具体的な手立てなどを行うことに困難が生じ、伸び悩みました。

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
7	366	354	206	1	0	147	7 (78%)	1 (11%)	0 (0%)	1 (11%)	6 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) デジタル社会における児童生徒の健全育成に向けた対策の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
165	%	小 -	100	100	97	B
166 スマートフォンやインターネットを使うときは、危険に巻き込まれる可能性等があることを理解している児童生徒の割合		中 -	100	100	98	B
167		高 -	100	100	99	B

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	3	3		1		2	1 (100%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	1 (100%)	(0%)	(0%)

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- 令和7年県民意識調査によると、「いじめや不登校への適切な対処」の重要度は7位、満足度は48位となり、ニーズ度は5位となっています。

16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます

（基本方向）

児童生徒の学校における安全・安心な環境が確保されるよう、学校施設等の安全点検による事故等の未然防止など学校安全計画の組織的な推進や、学校・家庭・地域・関係機関との連携による通学時の見守りや安全教育、学校施設・設備の計画的な老朽化対策などを推進します。

また、地域とともにある学校、魅力ある学校づくりを進めるため、スクール・ポリシーに基づく特色ある教育活動の充実、目標達成型の学校経営や学校・家庭・地域との連携・協働の仕組みであるコミュニティ・スクールの取組などを推進します。

さらに、質の高い教育を行えるよう、多様な評価に基づく教員採用試験の実施や教員等育成指標に基づく体系的な研修の充実等により、教員の育成と資質向上を進めます。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標7指標は、達成度A、Bの指標が7指標（100%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標7指標は、達成度A、Bの指標が7指標（100%）でした。

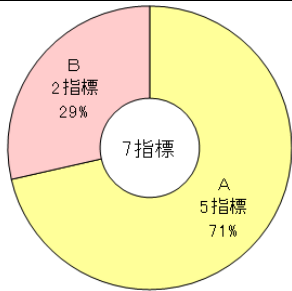
1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R6	比較
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 82.5	82.5	82.5	83.8	A	-	-	-
20		中 85.4	85.4	85.4	83.2	B	-	-	-
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 83.0	83.0	83.0	87.2	A	-	-	-
22		中 83.5	83.5	83.5	88.7	A	-	-	-
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 76.4	80.0	78.0	80.6	A	-	-	-
27		中 76.2	79.0	78.5	81.8	A	-	-	-
32 特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	96.0	96.0	96.0	98.1	A	-	-	-

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R6	備考
12	人	小 8.4	-	-
13 不登校児童生徒数[千人当たり]		中 39.6	-	-
14		高 19.8	-	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
 7指標 A 5指標 71% B 2指標 29%	具体的推進方策指標 7 指標は、達成度 A、B の指標が 7 指標（100%）でした。

（1）安全でより良い環境の整備

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
168 地域住民などによる見守り活動が行われている小中学校の割合	%	81.8	85.0	85.0	93.4	A
169 県立高校の長寿命化改修・大規模改造等実施施設数〔累計〕	施設	3	9	5	5	A
170 県立学校のトイレ洋式化率（生徒等に対する充足率）	%	76.5	86.0	81.8	84.1	A

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト（百万円）						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
11	3,103	2,647	13	1	2,107	526	7 (87%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (13%)	10 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

（2）魅力ある学校づくりの推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
171 コミュニティ・スクールを導入している学校の割合【再掲】	%	19.0	90.0	80.0	92.4	A
172 自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある高校2年生の割合	%	50	75	75	67	B

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト（百万円）						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
5	36	34	18	1		15	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (83%)	0 (0%)	1 (17%)	0 (0%)

（3）多様な教育ニーズに対応する教育機会の確保

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
173 教育支援センターを設置している市町村数	市町村	21	33	27	27	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
5	19	16	6	0	0	10	4 (66%)	1 (17%)	0 (0%)	1 (17%)	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) 教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
174 教職大学院の現職教員修了者数〔累計〕	人	23	63	47	45	B

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
10	368	364	62	2	0	300	10 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (56%)	4 (44%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎ 県民意識調査の結果

- ・ 令和7年県民意識調査によると、「子どもが安全・安心に学ぶことができる環境」の重要度は11位、満足度は8位となり、ニーズ度は27位となっています。

18 地域に貢献する人材を育てます

（基本方向）

郷土を愛し、岩手の復興・発展を支える人材を育成するため、「いわての復興教育」などの取組を推進し、東日本大震災津波の教訓等を県内外に発信し、後世に語り継いでいきます。

また、産業を担う人材を育成するため、総合生活力や人生設計力の育成に努め、キャリア教育を充実するとともに、各分野における専門知識や技術の習得・向上を推進します。

さらに、社会が急激に変化し、グローバル化が進展する中、国際的な視野と地域に貢献する視野を持ったグローバル人材を育成するため、海外留学などの機会を充実するとともに、岩手県の歴史・文化の探求や、地域活動への積極的な参加を促進します。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 2 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（50%）、達成度 D の指標が 1 指標（50%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標 6 指標は、達成度 A の指標が 2 指標（33%）、達成度 C、D の指標が 4 指標（67%）でした。

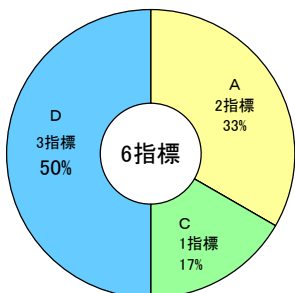
1 いわて幸福関連指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
								R3	R6	比較
33	高卒者の県内就職率	%	74.1	84.5	84.5	教育関連以外のものは非表示としています。				
34	将来の夢や目標を持って	%	小 82.1	84.0	83.3	83.6	A	-	-	-
35	いる児童生徒の割合		中 72.8	76.0	74.5	70.8	D	-	-	-
36	県内大学等卒業者の県内就職率	%	47.0	50.0	49.0					

【特記事項】

- ・ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（中学生）：全国平均を上回りましたが、変化が激しく、先行き不透明な社会情勢の中、将来に不安を感じている生徒が一定数確認されました。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
 6指標 A 2指標 33% C 1指標 17% D 3指標 50%	具体的推進方策指標 6 指標は、達成度 A の指標が 2 指標（33%）、達成度 C、D の指標が 4 指標（67%）でした。

（1）「いわての復興教育」などの推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
177	自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合	%	小 72	74	73	71	D
178			中 53	60	57	54	D
179			高 45	52	49	52	A

【特記事項】

- 自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合（小学生、中学生）：郷土を愛し、復興・発展を支える「いわての復興教育」などを推進しましたが、少子化により、地域活動等の継続が困難になっている地域が増えていることや、教育課程の見直しで地域と関わる学校行事が減少したことなどにより、自分の住む地域の良さを実感する機会を十分に確保することができませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	64	57	10	41	0	6	6 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	7 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
180	将来希望する職業(仕事)について考えている高校2年生の割合	%	48	55	52	51	C

【特記事項】

- 将来希望する職業（仕事）について考えている高校2年生の割合：各学校において、「総合的な探究の時間」などによりキャリア教育を推進した結果、令和5年度より増加しましたが、具体的な職業をイメージする取組の充実が十分ではありませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	2,009	1,965	424	15	1,519	7	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) ものづくり産業人材の育成・確保・定着

—

(4) 農林水産業の将来を担う人材の育成

—

(5) 建設業の将来を担う人材の確保、育成

—

(6) デジタル人材の育成

—

(7) 科学技術の理解増進と次代を担う人材の育成

—

(8) 岩手と世界をつなぐ人材の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
190 中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合	%	中 42.9	51.0	47.0	47.4	A
191		高 49.0	57.0	53.0	47.2	D

【特記事項】

- ・ 中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合（高校生）：英語の学習意欲を高めるような取組、質の高い言語活動を実施するための授業力向上や、指導と評価の一体化の充実を図る取組が十分ではありませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
10	253	251	1	1	0	249	11 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	9 (90%)	1 (10%)	0 (0%)	0 (0%)

(9) 地域産業の国際化に貢献する人材の育成

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- ・ 令和7年県民意識調査によると、「次代を担う人材育成」の重要度は29位、満足度は35位となり、ニーズ度は28位となっています。



31 ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります

（基本方向）

県民一人ひとりが能力を発揮でき、ライフステージやライフスタイルに合わせて希望に応じた多様な働き方ができる環境づくりに向け、長時間労働の是正やデジタル技術等を活用した企業の生産性向上等の働き方改革を推進するとともに、働く人のエンゲージメントを高め、若者や女性にも魅力ある雇用・労働環境の整備を促進します。

また、人口減少の歯止めや県内企業の人材確保のため、関係機関・団体が連携し、キャリア教育や県内企業の採用力向上等の取組により県内就業を促進するとともに、様々なニーズに応じた効果的な取組によりＵ・Ｉターンを促進します。

さらに、岩手の将来を担う若者をはじめ、女性・高齢者・障がい者など、誰もが活躍できる全員参加型社会の実現のため、個々の特性や希望に応じて持てる能力を最大限に発揮できる職業能力の開発などに取り組めます。

【概要】

- ・ 具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100％）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

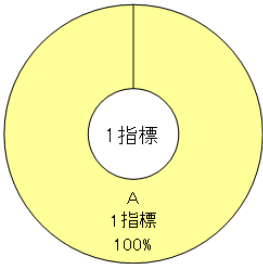
指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R6	比較
49 一人当たり県民所得の水準※	%	① 87.4	⑥ 90.0	④ 90.0	教育関連以外のものは非表示としています。				
50 正社員の有効求人倍率	倍	0.88	1.00	1.00					
51 総実労働時間〔年間〕【再掲】	時間	1,761.6	1,633.0	1,684.4					
52 完全失業率	%	2.4	2.0	2.0					
53 高卒者の県内就職率【再掲】	%	74.1	84.5	84.5					
54 女性の全国との賃金格差※	%	84.4	89.4	87.0					

※ 全国を 100 とした水準

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R6	備考
17 非正規職員・従業員率	%	②⑨ 35.7		5年ごとの公表
18 雇用者一人当たり雇用者報酬	千円	① 4,043		－
19 現金給与総額〔5人以上、毎月〕	円	282,811		－

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

（1） 県内就業の促進及び U・I ターンによる人材確保の推進

—

（2） 若者や女性などに魅力ある雇用・労働環境の構築

—

（3） 社会環境の変化に対応した職業能力開発の支援

—

（4） 子育てと仕事の両立を図る家庭への支援

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
291 放課後児童クラブの待機児童数(5月時点)【再掲】	人	142	0			
292 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	67.0	90.0	80.0	80.4	A
293 保育士・保育所支援センターマッチング件数〔累計〕【再掲】	件	114	456			
294 いわて子育てにやさしい企業等認証の認証数〔累計〕【再掲】	事業者	75	515			

【特記事項】

- ・ 保育士・保育所支援センターマッチング件数〔累計〕：少子化の影響による保育所等の利用定員の縮小に伴い、求人相談件数が横ばいとなっており、マッチング件数が伸び悩みました。

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
3	213	173	109	5	0	59	2 (50%)	1 (25%)	1 (25%)	0 (0%)	1 (25%)	0 (0%)	2 (50%)	1 (25%)

（5） 障がいなどに応じた多様な就労の場の確保や、就労に向けた支援

—

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- ・ 令和 7 年県民意識調査によると、「安定した就職環境」の重要度は 10 位、満足度は 54 位となり、ニーズ度は 1 位となっています。

40 世界遺産の保存と活用を進めます

（基本方向）

世界遺産等の価値を共有し、広めるため、保存管理計画に基づく適切な保存管理や県民の理解増進、「平泉の文化遺産」の世界遺産への拡張登録に向けた取組、県内外への情報発信などに取り組みます。

また、世界遺産を活用した人的・文化的交流を図るため、平泉世界遺産ガイダンスセンターを「平泉の文化遺産」の周遊・魅力発信の拠点として活用するとともに、本県が有する3つの世界遺産及び関連資産を有する地域間の連携・交流による一体的な取組を推進します。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R6	比較
64 世界遺産等の来訪者数	千人	417	991	805	807		教育関連以外のものは非表示としています。		
65 国、県指定文化財件数	件	574	589	583	588	A	31 位 (3 位)	30 位 (3 位)	上昇 (横ばい)

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

（1）世界遺産の適切な保存管理と拡張登録の推進

—

（2）世界遺産の価値の普及と魅力の発信

—

（3）3つの世界遺産の連携・交流の推進

—

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- 令和 7 年県民意識調査によると、「世界遺産を守り将来に伝えていくための取組」の重要度は 43 位、満足度は 5 位となり、ニーズ度は 48 位となっています。

41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が 受け継がれる環境をつくり、交流を広げます

（基本方向）

県民の郷土愛を醸成するため、本県が誇る民俗芸能に触れる機会の創出や情報発信により、伝統文化への理解を深め、次世代へ受け継ぐ取組を推進します。

また、地域に伝承されてきた文化財を後世に伝えていくため、市町村と連携しながら、文化財の適切な保存・継承に取り組むとともに、歴史資源や伝統文化を生かした地域活性化を図るため、地域の偉人や歴史、様々な文化財や多種多様な民俗芸能、食などの伝統文化や観光資源を活用し、人的・経済的な交流を推進します。

〔概要〕

○ 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
								R3	R6	比較
64	世界遺産等の来訪者数	千人	417	991	805	教育関連以外のものは非表示としています。				
65	国、県指定文化財件数	件	574	589	583	588	A	31 位 (3 位)	30 位 (3 位)	上昇 (横ばい)
66	民俗芸能ネットワーク加盟団体数	団体	393	393	393					

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

（1）民俗芸能の公演発表などによる、伝統文化への理解促進と情報発信

—

（2）伝統文化、文化財などを活用した交流の推進

—

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- 令和 7 年県民意識調査によると、「郷土の歴史や伝統文化が受け継がれる環境」の重要度は 40 位、満足度は 16 位となり、ニーズ度は 42 位となっています。

参考資料 1 令和6年度「教育委員会事務点検評価報告書」指標一覧表

達成度：令和3年度現状値を基準とし、令和5年度実績値が、
令和6年度目標値に対し、どのくらい達成できたかを示す割合

- 【A】達成……………達成度の割合が100%以上
 【B】概ね達成……………達成度の割合が80%以上100%未満
 【C】やや遅れ……………達成度の割合が60%以上80%未満
 【D】遅れ……………達成度の割合が60%未満

指標 No.	政策項目		単位	R 3 現状	R 6		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標			目標	実績	達成度
幸福11	No.5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります	生涯学習に取り組んでいる人の割合	%	46.1	48.0	44.7	D
推進58	①多様な学習機会の充実	生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数	人	885	970	975	A
推進59		生涯学習情報提供システム（ホームページ）利用件数	件	4,166	5,820	5,794	B
推進60		◆「読書が楽しい」と感じる児童生徒の割合	%	小 89	90	85	B
推進61			%	中 85	85	81	B
推進62			%	高 84	85	80	B
推進63	②岩手ならではの学習機会の提供	県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした講座の受講者数	人	678	1,100	1,721	A
推進64	③学びと活動の循環による地域の活性化	◆教育振興運動や地域学校協働活動を推進している市町村・地区の割合【再掲】	%	95.7	95.7	94.5	B
推進65	④社会教育の中核を担う人材の育成	社会教育指導員・地域づくり関係者の資質向上を図る研修会の受講者数	人	107	140	161	A
推進66	⑤多様な学びのニーズに応じた拠点の充実	◆県立博物館・県立美術館の企画展における観覧者の満足度の割合	%	91	91	96	A
推進67		◆県立青少年の家・野外活動センターにおける利用者の満足度の割合	%	—	97	99	A

指標 No.	政策項目		単位	R 3 現状	R 6		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標			目標	実績	達成度
—	No.6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります	—	—	—	—	—	—
推進76	③子育て家庭への支援	放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	67.0	80.0	80.4	A
推進88	⑥家庭教育を支える環境づくりの推進	すこやかメールマガジンの登録人数	人	3,635	5,000	5,002	A
推進89		子育てサポーター等を対象とした家庭教育支援に関する研修会の参加者数	人	559	625	1,044	A
—	No.7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます	—	—	—	—	—	—
推進90	①学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり	コミュニティ・スクールを導入している学校の割合	%	19.0	80.0	92.4	A
推進91		保護者や地域住民による教育支援活動が行われている学校の割合	%	小 76.9	95.9	—	—
推進92			%	中 57.8	88.0	—	—
推進93		◆教育振興運動や地域学校協働活動を推進している市町村・地区の割合	%	95.7	95.7	94.5	B
推進94	②豊かな体験活動の充実	放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合	%	67.0	80.0	80.4	A
推進96		◆県立青少年の家・野外活動センターが提供する親子体験活動事業への参加者の満足度の割合	%	—	98	100	A
推進97	③県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進	特別支援教育サポーターの登録者数【再掲】	人	335	420	394	C
—	No.9 仕事と生活を両立できる環境をつくります	—	—	—	—	—	—
推進108	②仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	67.0	80.0	80.4	A

指標 No.	政策項目		単位	R 3 現状	R 6		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標			目標	実績	達成度
幸福19	No.11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます	◆意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 82.5	82.5	83.8	A
幸福20			%	中 85.4	85.4	83.2	B
幸福21		◆授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 83.0	83.0	87.2	A
幸福22			%	中 83.5	83.5	88.7	A
指標116	①これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成	教育課程全体で「話すこと」「書くこと」等の言語活動の充実を図っている学校の割合	%	小 ー	51	47	B
推進117			%	中 ー	43	40	B
推進118			%	高 ー	86	84	B
推進119		児童生徒の資質・能力の向上に向けて、「確かな学力育成プラン」に基づいて組織的に取り組んでいる学校の割合	%	小 ー	65	69	A
推進120			%	中 ー	54	51	B
推進121		「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をもとに幼児児童の姿を共有し、授業に生かしている小学校の割合	%	ー	80	87	A
推進122		授業等でI C T機器を活用し、児童生徒にI C T活用について指導できる教員の割合	%	78	82	ー	ー
推進123		諸調査結果や日々の授業から明らかになった児童生徒のつまずきに着目した授業改善を行っている学校の割合	%	小 ー	54	51	B
推進124			%	中 ー	44	30	C
推進125			%	高 ー	80	82	A
推進126	②児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実	学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいる児童生徒の割合	%	小 ー	64	59	B
推進127			%	中 ー	58	52	B
推進128			%	高 ー	53	52	B
推進129	③社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進	生徒の進路実現に向け、自校で設定した進路目標を達成できた高校の割合	%	66	68	64	D

指標 No.	政策項目		単位	R 3 現状	R 6		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標			目標	実績	達成度
幸福23	No.12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます	人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	◆小 68	70	65	B
幸福24			%	◆中 67	68	65	B
幸福25			%	高 62	67	61	D
幸福26		自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 76.4	78.0	80.6	A
幸福27			%	中 76.2	78.5	81.8	A
推進130	①自他の生命を大切にし、人権を尊重する心の育成	多様な意見を認め合うことに価値を感じている児童生徒の割合	%	小 ー	78	73	B
推進131			%	中 ー	82	76	B
推進132			%	◆高 ー	90	87	B
推進133	②学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成	学校や地域が行う体験活動に参加し、達成感や有用感をもった児童生徒の割合	%	小 ー	86	90	A
推進134			%	中 ー	86	89	A
推進135			%	高 ー	90	92	A
推進136		◆「読書が楽しい」と感じる児童生徒の割合【再掲】	%	小 89	90	85	B
推進137			%	中 85	85	81	B
推進138			%	高 84	85	80	B
推進139	③学校における文化芸術教育の推進	様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味がわいたと感じている児童生徒の割合	%	小 69	73	71	D
推進140			%	中 65	70	65	D
推進141			%	高 68	79	80	A
推進142	④主権者教育などによる社会に参画する力の育成	話し合いの場で、互いの良さを生かしながら解決方法を決めている児童生徒の割合	%	小 ー	84	86	A
推進143			%	中 ー	84	88	A
推進144			%	高 ー	84	85	A

指標 No.	政策項目		単位	R 3 現状	R 6		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標			目標	実績	達成度
幸福28	No.13 【体育】児童生徒の健やかな 体を育みます	◆体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	小 男 68.9	70.0	67.2	B
幸福29			%	小 女 79.1	80.0	74.4	B
幸福30			%	中 男 74.8	75.0	75.0	A
幸福31			%	中 女 88.8	90.0	83.9	B
推進145	①児童生徒の健康の保持・増進に向 けた対策の充実	◆運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合	%	86	89	89	A
推進146		朝食を毎日食べる児童生徒の割合	%	◆小 96.6	97.0	95.6	B
推進147			%	中 89.2	91.0	88.0	D
推進148		◆毎日一定の時刻に就寝する児童生徒の割合	%	小 84.7	85.0	84.3	B
推進149			%	中 84.6	85.0	84.6	B
推進150		喫煙飲酒の指導を含めた「薬物乱用防止教室」を開催している小学校の割合	%	89.9	100	93.6	B
推進151		②適切な部活動体制の推進	%	中 86.6	92.0	95.8	A
推進152			%	高 93.1	97.0	100.0	A
幸福32	No.14 共に学び、共に育つ特別支援 教育を進めます	◆特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	96.0	96.0	98.1	A
推進153	①就学前から卒業後までの一貫した 支援の充実	◆「引継ぎシート」を活用し、進学時に円滑な引継ぎを行っている学校の割合	%	71	100	100	A
推進154		いわて特別支援学校就労サポーター制度への登録企業数	社	123	139	140	A
推進155	②各校種における指導・支援の充実	交流籍の活用や学校間交流等により交流及び共同学習を実施した児童生徒の割合	%	66	70	74	A
推進156		特別支援学校の授業研究会・研修会に参加した小・中学校等及び高等学校の教員数〔累計〕	人	454	780	879	A
推進157	③教育環境の充実・県民理解の促進	◆県立学校における医療的ケアが必要な児童生徒が、医療的ケア看護職員による医療的ケアを受けた割合	%	100	100	100	A
推進158		特別支援教育サポーターの登録者数	人	335	420	394	C

指標 No.	政策項目		単位	R 3 現状	R 6		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標			目標	実績	達成度
幸福23	No.15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります	人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	◆小 68	70	65	B
幸福24			%	◆中 67	68	65	B
幸福25			%	高 62	67	61	D
推進159	①いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対処	◆いじめはいけないと思う児童生徒の割合	%	小 97.0	100	97.1	B
推進160			%	中 97.4	100	96.2	B
推進161		◆認知したいじめが解消した割合	%	98.1	100	—	—
推進162	②児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進	学校が楽しいと思う（学校に満足している）児童生徒の割合	%	小 87	89	85	D
推進163			%	中 84	87	86	C
推進164			%	高 89	90	91	A
推進165	③デジタル社会における児童生徒の健全育成に向けた対策の推進	◆スマートフォンやインターネットを使うときは、危険に巻き込まれる可能性等があることを理解している児童生徒の割合	%	小 —	100	97	B
推進166			%	中 —	100	98	B
推進167			%	高 —	100	99	B

指標 No.	政策項目		単位	R 3 現状	R 6		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標			目標	実績	達成度
幸福19	No.16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます	◆意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 82.5	82.5	83.8	A
幸福20			%	中 85.4	85.4	83.2	B
幸福21		◆授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 83.0	83.0	87.2	A
幸福22			%	中 83.5	83.5	88.7	A
幸福26		自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 76.4	78.0	80.6	A
幸福27			%	中 76.2	78.5	81.8	A
幸福32		◆特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	96.0	96.0	98.1	A
推進168	①安全でより良い教育環境の整備	◆地域住民などによる見守り活動が行われている小中学校の割合	%	81.8	85.0	93.4	A
推進169		県立学校の長寿命化改良・大規模改造実施施設数（累計）	施設	3	5	5	A
推進170		県立学校のトイレ洋式化率（生徒等に対する充足率）	%	76.5	81.8	84.1	A
推進171	②魅力ある学校づくりの推進	コミュニティ・スクールを導入している学校の割合【再掲】	%	19.0	80.0	92.4	A
推進172		◆自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある高校2年生の割合	%	50	75	67	B
推進173	③多様な教育ニーズに対応する教育機会の提供	教育支援センターを設置している市町村数	市町村	21	27	27	A
推進174	④教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上	教職大学院の現職教員修了者数（累計）	人	23	47	45	B
幸福34	No.18 地域に貢献する人材を育てます	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	小 82.1	83.3	83.6	A
幸福35			%	中 72.8	74.5	70.8	D
推進177	①「いわての復興教育」などの推進	自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合	%	小 72	73	71	D
推進178			%	中 53	57	54	D
推進179			%	高 45	49	52	A
推進180	②キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成	将来希望する職業(仕事)について考えている高校2年生の割合	%	48	52	51	C
推進190	⑧岩手と世界をつなぐ人材の育成	中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合	%	中 42.9	47.0	47.4	A
推進191			%	高 49.0	53.0	47.2	D

指標 No.	政策項目		いわて幸福関連指標		単位	R 3 現状	R 6		
	具体的な推進方策		具体的推進方策指標				目標	実績	達成度
—	No.31 ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります		—		—	—	—	—	—
推進292	④子育てと仕事の両立を図る家庭への支援		放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】		%	67.0	80.0	80.4	A
幸福65	40 世界遺産の保存と活用を進めます		国、県指定文化財件数		件	574	583	588	A
幸福65	No.41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます		国、県指定文化財件数		件	574	583	588	A

◆：維持することを目標としている指標

◎いわて幸福関連指標※

	指標数	割合
A	9	50%
B	6	33%
C	0	0%
D	3	17%
未確定	0	—
計	18	—

※複数の政策項目に関連しているいわて幸福関連指標の指標数は「1」としています。

◎具体的推進方策指標

	指標数	割合
A	39	47%
B	31	37%
C	5	6%
D	8	10%
未確定	4	—
計	87	—

【教育】70事業（再掲29事業を除く）

番号	事業名	区分	コロナ関連	計画年度	事業名	令和5年度						繰越額(千円)
						最終予算額(千円)	決算額(千円)	国庫	その他	繰越	一般	
11【教育】児童生徒の確かな学力を育みます												
① これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成												
3-1	事業			総	中高連携学力向上推進事業費【学校教育費】	1,265	1,265	0	0	0	1,265	0
3-2	事業			総	いわて幼児教育センター運営費【学校教育費】	9,891	4,879	31				0
3-3	事業			総	教職員研修費（中間研修等資質向上研修・ステップ研修費）【学校教育費】	2,841	2,839	0	923		1,718	0
(3-81)	事業	再		総	いわての地域国際化人材育成事業費【学校教育費】	(4,372)	(4,279)	(0)	(0)	(0)	(4,279)	(0)
(3-4)	事業	再		総	確かな学力育成プラン推進費【学校教育費】	9,976	0	(0)	(0)	(0)	(9,976)	(0)
3-5	事業			総	遠隔教育ICT活用促進事業費【学校教育費】	2,475	2,265	2,265			0	0
3-6	事業	コ		総	学校教育ICT活用促進事業費【学校教育費】	32,182	32,132	13,804	3,305	0	14,823	0
② 児童生徒の学習に応じた教育の推進と家庭学習の充実												
(3-3)	事業	再		総	教職員研修費（中間研修等資質向上研修・ステップ研修費）【学校教育費】	(2,839)	(0)	(923)	(0)	(0)	(1,718)	(0)
3-4	事業			総	確かな学力育成プラン推進費【学校教育費】	10,000	0	0	0	0	9,976	0

■事務事業評価一覧表

- 令和6年度に実施した政策的な事務事業について「予算・決算額」、「達成度」について取りまとめた表です。
- 10の政策ごとの事業数を記載しています。

■政策項目

50の政策項目名を記載しています。

■具体的な推進方策

県が主体となって取り組む「具体的な推進方策」を記載しています。

■復興推進プラン・総合戦略関連

復興推進プランに掲げられる事業について「復」を、岩手県ふるさと振興総合戦略に掲げられる事業について「総」を表示しています。

■令和6年度（千円）

令和6年度の最終予算額、決算額、翌年度への繰越額を記載しています。

■コロナ関連

新型コロナウイルス感染症関連の事業には「コ」を表示しています。

■区分

主掲事業の再掲となる事業には「再」を表示しています。

</

【Ⅰ 健康・余暇】131事業（再掲27事業を除く）

番号					部局名	区分	計画 関連	事業名	令和6年度						繰越額 (千円)
									最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
											国庫	その他	県債	一般	
4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます															
① 県民が日常的に文化芸術に親しむ機会の充実															
1-127	教委	再	総	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】				(331,528)	(331,425)	(0)	(11,407)	(0)	(320,018)	(0)	
1-128	教委	再	総	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】				(433,756)	(433,263)	(0)	(83,628)	(0)	(349,635)	(0)	
④ ライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実															
1-117	教委		総	運動部活動地域連携推進事業費【保健体育課】				482	278	0	278	0	0	0	
5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります															
① 多様な学習機会の充実															
2-50	教委	再	復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】				(113,049)	(101,889)	(50,291)	(0)	(0)	(51,598)	(0)	
1-124	教委		総	生涯学習推進費(子どもの読書活動推進事業費)【生涯学習文化財課】				258	239	0	0	0	239	0	
1-130	教委	再	復・総	社会教育デジタル活用推進事業費【生涯学習文化財課】				(14,977)	(14,829)	(0)	(9,713)	(0)	(5,116)	(0)	
1-125	教委		総	図書館管理運営費【生涯学習文化財課】				262,622	262,402	0	137	0	262,265	0	
② 岩手ならではの学習機会の提供															
1-127	教委	再	総	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】				(331,528)	(331,425)	(0)	(11,407)	(0)	(320,018)	(0)	
1-128	教委	再	総	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】				(433,756)	(433,263)	(0)	(83,628)	(0)	(349,635)	(0)	
1-130	教委	再	復・総	社会教育デジタル活用推進事業費【生涯学習文化財課】				(14,977)	(14,829)	(0)	(9,713)	(0)	(5,116)	(0)	
1-125	教委	再	総	図書館管理運営費【生涯学習文化財課】				(262,622)	(262,402)	(0)	(137)	(0)	(262,265)	(0)	
③ 学びと活動の循環による地域の活性化															
2-50	教委	再	復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】				(113,049)	(101,889)	(50,291)	(0)	(0)	(51,598)	(0)	
1-126	教委		総	社会教育団体活動費補助【生涯学習文化財課】				1,491	1,490	0	0	0	1,490	0	
④ 社会教育の中核を担う人材の育成															
1-130	教委	再	復・総	社会教育デジタル活用推進事業費【生涯学習文化財課】				(14,977)	(14,829)	(0)	(9,713)	(0)	(5,116)	(0)	
新1-7	教委			全国社会教育研究大会岩手大会負担金【生涯学習文化財課】					-						

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和6年度			指標名	単位	令和6年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
企画展・テーマ展の開催回数	回	3	5	A	博物館入館者数	人	40,000	33,421	B	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】
美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	45	50	A	美術館入館者数	人	60,000	83,056	A	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】
検討(運営)会議の開催	回	-	-	—	実践研究対象部活動数	部	-	-	—	運動部活動地域連携推進事業費【保健体育課】
岩手県中学生スポーツ・文化活動セミナーの開催回数	回	1	1	A	岩手県中学生スポーツ・文化活動セミナーへの参加人数	人	200	178	B	
地域クラブ活動移行普及ワークショップの開催回数	回	-	-	—	地域クラブ活動移行普及ワークショップへの参加人数	人	-	-	—	
補助市町村数	市町村	28	28	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	98.3	98.9	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	2	C	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	339	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	276	A	
読書ボランティア研修会の開催回数	回	7	7	A	小学校における読書ボランティア活用割合	%	88.0	86.5	B	生涯学習推進費(子どもの読書活動推進事業費)【生涯学習文化財課】
子どもの読書活動推進委員会開催回数	回	2	2	A	小学生(5年生)の1か月の平均読書冊数	冊	18.0	16.5	B	
					中学生(2年生)の1か月の平均読書冊数	冊	5.0	4.4	B	
					高校生(2年生)の1か月の平均読書冊数	冊	3.0	1.9	C	
デジタル化した貴重資料の新規公開件数	件	10,300	2,599	D	デジタルライブラリーいわて及びバーチャル博物館の閲覧件数	件	11,600	10,446	B	社会教育デジタル活用推進事業費【生涯学習文化財課】
学習機会の提供と読書普及のための展示や講座等の催事の実施回数	回	280	455	A	図書館入館者数	人	350,000	360,623	A	図書館管理運営費【生涯学習文化財課】
企画展・テーマ展の開催回数	回	3	5	A	博物館入館者数	人	40,000	33,421	B	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】
美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	45	50	A	美術館入館者数	人	60,000	83,056	A	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】
デジタル化した貴重資料の新規公開件数	件	10,300	2,599	D	デジタルライブラリーいわて及びバーチャル博物館の閲覧件数	件	11,600	10,446	B	社会教育デジタル活用推進事業費【生涯学習文化財課】
学習機会の提供と読書普及のための展示や講座等の催事の実施回数	回	280	455	A	図書館入館者数	人	350,000	360,623	A	図書館管理運営費【生涯学習文化財課】
補助市町村数	市町村	28	28	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	98.3	98.9	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	2	C	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	339	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	276	A	
社会教育団体への補助件数	件	10	10	A	-	-	-	-	—	社会教育団体活動費補助【生涯学習文化財課】
デジタル化した貴重資料の新規公開件数	件	10,300	2,599	D	デジタルライブラリーいわて及びバーチャル博物館の閲覧件数	件	11,600	10,446	B	社会教育デジタル活用推進事業費【生涯学習文化財課】
運営に関する会議の開催回数	回	-	-	—	全国社会教育研究大会岩手大会参加者数	人	-	-	—	全国社会教育研究大会岩手大会負担金【生涯学習文化財課】

【Ⅰ 健康・余暇】131事業（再掲27事業を除く）

番号	部局名	区分	計画 関連	事業名	令和6年度						
					最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
							国庫	その他	県債	一般	
⑤ 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実											
1-127	教委		総	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】	331,528	331,425	0	11,407	0	320,018	0
1-128	教委		総	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】	433,756	433,755	0	83,311	0	350,444	0
(1-125)	教委	再	総	図書館管理運営費【生涯学習文化財課】	(262,622)	(262,402)	(0)	(137)	(0)	(262,265)	(0)
1-129	教委		復・総	野外活動センター管理運営費【生涯学習文化財課】	84,252	83,207	0	4,105	0	79,102	0
1-130	教委		復・総	社会教育デジタル活用推進事業費【生涯学習文化財課】	14,977	14,829	0	9,713	0	5,116	0
1-131	教委		総	青少年の家管理運営費【生涯学習文化財課】	271,123	270,658	0	1,280	0	269,378	0

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和6年度			指標名	単位	令和6年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
企画展・テーマ展の開催回数	回	3	5	A	博物館入館者数	人	40,000	33,421	B	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】
美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	45	50	A	美術館入館者数	人	60,000	83,056	A	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】
学習機会の提供と読書普及のための展示や講座等の催事の実施回数	回	280	455	A	図書館入館者数	人	350,000	360,623	A	図書館管理運営費【生涯学習文化財課】
野外活動センターにおける体験活動の事業実施回数	回	15	22	A	野外活動センターの施設利用人数	人	26,756	28,551	A	野外活動センター管理運営費【生涯学習文化財課】
デジタル化した貴重資料の新規公開件数	件	10,300	2,599	D	デジタルライブラリーいわて及びバーチャル博物館の閲覧件数	件	11,600	10,446	B	社会教育デジタル活用推進事業費【生涯学習文化財課】
青少年の家における事業の実施数	回	27	35	A	青少年の家の施設利用人数	人	97,383	97,383	A	青少年の家管理運営費【生涯学習文化財課】

【Ⅱ 家族・子育て】55事業（再掲39事業を除く）

番号					部局名	区分	計画 関連	事業名	令和6年度						
									最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
											国庫	その他	県債	一般	
6 安心して子どもを生育てられる環境をつくります															
③ 子育て家庭への支援															
(2-50)	教委	再	復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	(113,049)	(101,889)	(50,291)	(0)	(0)	(51,598)	(0)				
④ 子どもが健やかに成長できる環境の整備															
2-29	教委		復・総	いわての学び希望基金奨学金給付事業費【教育企画室】	142,274	141,117	0	138,105	0	3,012	0				
2-30	教委		復・総	いわての学び希望基金大学等進学支援一時金給付事業費【教育企画室】	54,909	53,108	0	53,108	0	0	0				
2-31	教委		復・総	被災児童生徒就学援助事業費補助【教育企画室】	52,115	43,167	43,167	0	0	0	0				
2-32	教委		復・総	被災児童生徒特別支援教育就学奨励事業費補助【教育企画室】	48	0	0	0	0	0	0				
2-33	教委		復・総	高校奨学事業費補助【教育企画室】	28,938	28,084	0	15,024	0	13,060	0				
2-34	教委		総	高校奨学事業費補助(大学等進学支援)【教育企画室】	6,961	4,558	0	0	0	4,558	0				
2-35	教委		総	定時制通信教育運営費【教育企画室】	88	68	0	0	0	68	0				
2-36	教委		総	定時制、通信制修学資金貸付金【教育企画室】	252	168	0	0	0	168	0				
2-37	教委		復・総	いわての学び希望基金教科書購入費等給付事業費【学校教育室】	55,840	52,298	0	52,298	0	0	0				
2-38	教委		総	公立高等学校等就学支援金交付事業費【教育企画室】	2,128,004	2,126,779	2,126,697	82	0	0	0				
2-39	教委		総	奨学のための給付金支給事業費【教育企画室】	381,821	374,864	124,953	0	0	249,911	0				
2-40	教委		総	学び直しへの支援事業費【教育企画室】	274	274	274	0	0	0	0				
2-41	教委		総	専攻科等修学支援事業費【教育企画室】	342	342	171	0	0	171	0				
⑥ 家庭教育を支える環境づくりの推進															
2-47	教委		総	家庭教育推進費(家庭教育子育て支援推進事業費)【生涯学習文化財課】	2,796	2,764	0	0	0	2,764	0				
(2-50)	教委	再	復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	(113,049)	(101,889)	(50,291)	(0)	(0)	(51,598)	(0)				
7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます															
① 学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり															
2-48	教委		総	いわて地域学校連携促進事業費【生涯学習文化財課】	283	276	0	0	0	276	0				
2-49	教委		総	指導運営費(県立学校コミュニティ・スクール推進事業費)【学校教育室】	2,030	1,476	0	0	0	1,476	0				

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和6年度			指標名	単位	令和6年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
補助市町村数	市町村	28	28	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	98.3	98.9	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	2	C	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	339	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	276	A	
-	-	-	-	-	「いわての学び希望基金」を原資とする奨学金の給付率	%	100	100	A	いわての学び希望基金奨学金給付事業費【教育企画室】
-	-	-	-	-	大学等進学支援一時金の給付率	%	100	100	A	いわての学び希望基金大学等進学支援一時金給付事業費【教育企画室】
就学援助事業実施市町村に対する補助	回	1	1	A	就学援助事業費の市町村への補助率	%	100	100	A	被災児童生徒就学援助事業費補助【教育企画室】
特別支援教育就学奨励事業実施市町村に対する補助	回	1	-	-	特別支援教育就学奨励事業費の補助率	%	100	-	-	被災児童生徒特別支援教育就学奨励事業費補助【教育企画室】
(公財)岩手育英奨学会に対する補助	法人	1	1	A	申請対象者への貸与率	%	100	100	A	高校奨学事業費補助【教育企画室】
(公財)岩手育英奨学会に対する補助	法人	1	1	A	申請対象者への貸与率	%	100	100	A	高校奨学事業費補助(大学等進学支援)【教育企画室】
-	-	-	-	-	対象生徒への給与割合	%	100	100	A	定時制通信教育運営費【教育企画室】
-	-	-	-	-	対象生徒への貸与割合	%	100	100	A	定時制、通信制修学資金貸付金【教育企画室】
-	-	-	-	-	教科書購入費等給付金の給付率	%	100	100	A	いわての学び希望基金教科書購入費等給付事業費【学校教育室】
-	-	-	-	-	対象生徒の認定割合	%	100	100	A	公立高等学校等就学支援金交付事業費【教育企画室】
-	-	-	-	-	申請対象者への給付率	%	100	100	A	奨学のための給付金支給事業費【教育企画室】
-	-	-	-	-	対象生徒の認定割合	%	100	100	A	学び直しへの支援事業費【教育企画室】
-	-	-	-	-	対象生徒の認定割合	%	100	100	A	専攻科等修学支援事業費【教育企画室】
子育て電話相談・メール相談窓口の相談対応日数	日	237	239	A	子育て相談ニーズへの対応件数	件	800	1,244	A	家庭教育推進費(家庭教育子育て支援推進事業費)【生涯学習文化財課】
補助市町村数	市町村	28	28	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	98.3	98.9	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	2	C	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	339	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	276	A	
地域とともにある学校づくり推進フォーラム開催回数	回	6	6	A	地域とともにある学校づくり推進フォーラム参加者数	人	600	739	A	いわて地域学校連携促進事業費【生涯学習文化財課】
-	-	-	-	-	コミュニティ・スクール導入校	校	13	8	C	指導運営費(県立学校コミュニティ・スクール推進事業費)【学校教育室】

【Ⅱ 家族・子育て】55事業（再掲39事業を除く）

番号	部局名	区分	計画 関連	事業名	令和6年度						繰越額 (千円)
					最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	国庫	その他	県債	一般	
2-50	教委		復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	113,049	101,889	50,291	0	0	51,598	0
② 豊かな体験活動の充実											
(2-50)	教委	再	復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	(113,049)	(101,889)	(50,291)	(0)	(0)	(51,598)	(0)
③ 県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進											
(3-33)	教委	再	総	特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進プラン実践事業費)【学校教育室】	(370)	(326)	(0)	(0)	(0)	(326)	(0)
9 仕事と生活を両立できる環境をつくります											
② 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進											
(2-50)	教委	再	復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	(113,049)	(101,889)	(50,291)	(0)	(0)	(51,598)	(0)

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和6年度			指標名	単位	令和6年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
補助市町村数	市町村	28	28	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	98.3	98.9	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	2	C	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	339	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	276	A	
補助市町村数	市町村	28	28	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	98.3	98.9	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	2	C	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	339	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	276	A	
巡回相談をした特別支援学校数	校	15	15	A	◆巡回相談要請への対応率	%	100	100	A	特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進プラン実践事業費)【学校教育室】
教員研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	70	70	A	特別支援学校の学校公開研究会等の参加人数	人	1,800	1,800	A	
補助市町村数	市町村	28	28	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	98.3	98.5	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	2	C	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	339	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	276	A	

【Ⅲ 教育】114事業（再掲60事業を除く）

番号	部局名	区分	計画 関連	事業名	令和6年度							繰越額 (千円)
					最終予算額 (千円)	決算額 (千円)						
							国庫	その他	県債	一般		
11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます												
① これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成												
3-1	教委		総	いわて幼児教育センター運営費【学校教育室】	11,637	11,265	5,611	25	0	5,629	0	
3-2	教委		総	教職員研修費(中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費)【学校教育室】	2,399	2,398	0	1,032	0	1,366	0	
(3-98)	教委	再	総	いわての地域国際化人材育成事業費【学校教育室】	(4,577)	(4,111)	(0)	(0)	(0)	(4,111)	(0)	
(3-6)	教委	再	総	確かな学力育成プラン推進費【学校教育室】	(10,689)	(10,506)	(0)	(0)	(0)	(10,506)	(0)	
3-3	教委		総	公立幼稚園等ICT環境整備事業費補助【学校教育室】	0	0	0	0	0	0	0	
(3-7)	教委	再	総	確かな学力育成加速化事業費【学校教育室】	(5,671)	(5,528)	(0)	(0)	(0)	(5,528)	(0)	
3-4	教委		総	遠隔教育による学びの機会充実事業費【学校教育室】	3,100	1,618	1,618	0	0	0	0	
3-5	教委		総	学校教育DX推進事業費【教育企画室】	28,732	28,646	7,608	2,488	0	18,550	0	
(3-10)	教委	再	総	高等学校DX加速化推進事業費【学校教育室】	(160,860)	(155,346)	(155,335)	(0)	(0)	(11)	(0)	
新3-1	教委			学校教育DX推進事業費(公立学校情報機器整備事業費)【教育企画室】		-						
新3-2	教委			学校教育DX推進事業費(公立学校入出力支援装置整備事業費)【学校教育室】		-						
② 児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実												
(3-2)	教委	再	総	教職員研修費(中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費)【学校教育室】	(2,399)	(2,398)	(0)	(1,032)	(0)	(1,366)	(0)	
3-6	教委		総	確かな学力育成プラン推進費【学校教育室】	10,689	10,506	0	0	0	10,506	0	
3-7	教委		総	確かな学力育成加速化事業費【学校教育室】	5,671	5,528	0	0	0	5,528	0	

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和6年度			指標名	単位	令和6年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会の開催回数	回	7	7	A	幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会の参加人数	人	150	439	A	いわて幼児教育センター運営費【学校教育室】
就学前教育に係る市町村への訪問支援回数	回	33	110	A	いわて幼児教育センターの訪問支援を受けた人数	人	150	724	A	
実施する研修の回数	回	13	13	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	99	B	教職員研修費(中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費)【学校教育室】
英検IBA実施学校の割合	%	100	100	A	英検IBAの結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ中学校の割合	%	100	100	A	いわての地域国際化人材育成事業費【学校教育室】
イングリッシュワークショップの開催回数	回	2	2	A	イングリッシュワークショップ後、外国語や外国語活動において肯定的な変容が見られた児童生徒の割合	%	80	99	A	
小中学校における調査の実施	%	100	100	A	調査結果を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A	確かな学力育成プラン推進費【学校教育室】
英検IBA実施学校の割合	%	-	-	—	英検IBAの結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ中学校の割合	%	-	-	—	
-	-	-	-	—	公立幼稚園のICT環境整備園数	園	5	-	—	公立幼稚園等ICT環境整備事業費補助【学校教育室】
確かな学力育成調査・研究会議の開催回数	回	3	3	A	各学校への支援内容等の計画に基づき指導助言を行った市町村教委数	市町村	33	33	A	確かな学力育成加速化事業費【学校教育室】
イングリッシュワークショップの開催回数	回	-	-	—	イングリッシュワークショップ後、外国語や外国語活動において肯定的な変容が見られた参加者の割合	%	-	-	—	
遠隔教育にむけて取り組んだ実施対象校数	校	6	6	A	遠隔教育を実施した科目の延べ数	科目	12	13	A	遠隔教育による学びの機会充実事業費【学校教育室】
GIGAスクール運営支援センターの業務報告会の開催回数	回	12	12	A	GIGAスクール運営支援センターがB YOD導入に関連する県立高校からの問合せに対し、訪問指導等により対応した割合	%	100	100	A	学校教育DX推進事業費【教育企画室】
-	-	-	-	—	計画された学校訪問研修に対応した割合	%	-	-	—	
ICT機器を整備した学校数	校	24	17	C	-	-	-	-	—	高等学校DX加速化推進事業費【学校教育室】
更新対象自治体への補助率	%	-	-	—	事業計画通り端末の更新が行われた自治体の割合	%	-	-	—	学校教育DX推進事業費(公立学校情報機器整備事業費)【教育企画室】
入出力支援装置を整備した県立学校数	校	-	-	—	事業計画通り端末の更新が行われた自治体の割合	-	-	-	—	学校教育DX推進事業費(公立学校入出力支援装置整備事業費)【学校教育室】
実施する研修の回数	回	13	13	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	99	B	教職員研修費(中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費)【学校教育室】
小中学校における調査の実施	%	100	100	A	調査結果を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A	確かな学力育成プラン推進費【学校教育室】
英検IBA実施学校の割合	%	-	-	—	英検IBAの結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ中学校の割合	%	-	-	—	
確かな学力育成調査・研究会議の開催回数	回	3	3	A	各学校への支援内容等の計画に基づき指導助言を行った市町村教委数	市町村	33	33	A	確かな学力育成加速化事業費【学校教育室】
イングリッシュワークショップの開催回数	回	-	-	—	イングリッシュワークショップ後、外国語や外国語活動において肯定的な変容が見られた参加者の割合	%	-	-	—	

【Ⅲ 教育】114事業（再掲60事業を除く）

番号	部局名	区分	計画 関連	事業名	令和6年度							繰越額 (千円)
					最終予算額 (千円)	決算額 (千円)						
							国庫	その他	県債	一般		
③ 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進												
3-8	教委		総	いわて進学支援ネットワーク事業費(いわて進学支援ネットワーク事業費)【学校教育室】	16,559	16,027	0	0	0	16,027	0	
3-9	教委		総	いわて進学支援ネットワーク事業費(探究・STEAM教育推進事業費)【学校教育室】	12,244	11,248	0	0	0	11,248	0	
3-10	教委		総	高等学校DX加速化推進事業費【学校教育室】	160,860	155,346	155,335	0	0	11	0	
3-11	教委		総	指導運営費(原子力・エネルギー教育支援事業費)【学校教育室】	7,205	7,065	7,065	0	0	0	0	
3-12	教委		復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】	16,666	14,978	0	14,978	0	0	0	
3-13	教委		総	指導運営費(スーパーサイエンスハイスクール支援事業費)【学校教育室】	1,182	1,181	0	1,181	0	0	0	
(3-53)	教委	再	総	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共創事業費)【学校教育室】	(12,630)	(11,199)	(5,599)	(0)	(0)	(5,600)	(0)	
(2-34)	教委	再	総	高校奨学事業費補助(大学等進学支援)【教育企画室】	(6,961)	(4,558)	(0)	(0)	(0)	(4,558)	(0)	
12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます												
① 自他の生命を大切にし、人権を尊重する心の育成												
3-14	教委		総	指導運営費(人権教育研究推進事業費)【学校教育室】	301	293	293	0	0	0	0	
3-15	教委		総	指導運営費(道徳教育推進事業費)【学校教育室】	1,918	1,326	1,326	0	0	0	0	
② 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成												
(1-124)	教委	再	総	生涯学習推進費(子どもの読書活動推進事業費)【生涯学習文化財課】	(258)	(239)	(0)	(0)	(0)	(239)	(0)	
3-16	教委		総	教職員人事管理費(学校図書館利用促進事業費)【教職員課】	195	195	0	0	0	195	0	
③ 学校における文化芸術教育の推進												
3-18	教委		復・総	高等学校文化活動支援事業費【学校教育室】	9,000	9,000	0	0	0	9,000	0	
3-19	教委		総	岩手県中学校文化連盟補助【学校教育室】	1,400	1,128	0	0	0	1,128	0	
3-20	教委		復・総	いわての学び希望基金被災地児童生徒文化活動支援費補助【学校教育室】	3,650	2,153	0	2,153	0	0	0	
(3-26)	教委	再	総	教職員人事管理費(部活動指導員配置事業費)【保健体育課】	(54,231)	(48,551)	(13,664)	(0)	(0)	(34,887)	(0)	
④ 主権者教育などによる社会に参画する力の育成												
(3-15)	教委	再	総	指導運営費(道徳教育推進事業費)【学校教育室】	(1,918)	(1,326)	(1,326)	(0)	(0)	(0)	(0)	

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和6年度			指標名	単位	令和6年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
合同事業の講座数	講座	10	10	A	受講生の講座満足度	%	97	97	A	いわて進学支援ネットワーク事業費(いわて進学支援ネットワーク事業費)【学校教育室】
探究的な学習を実施した高校数	校	9	9	A	課題解決のためにデータを利活用した生徒の割合	%	100	100	A	いわて進学支援ネットワーク事業費(探究・STEAM教育推進事業費)【学校教育室】
ICT機器を整備した学校数	校	24	17	C	-	-	-	-	—	高等学校DX加速化推進事業費【学校教育室】
指導力向上研修回数	回	2	2	A	指導力向上研修を受講した教員数	人	60	61	A	指導運営費(原子力・エネルギー教育支援事業費)【学校教育室】
進学支援事業実施高校数	校	7	7	A	進学支援事業の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】
就職等支援事業実施高校数	校	14	14	A	就職等支援事業の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A	
非常勤事務職員配置人数	人	2	2	A	非常勤事務職員配置により、SSH事業を効果的に実施した高等学校数	校	2	2	A	指導運営費(スーパーサイエンスハイスクール支援事業費)【学校教育室】
魅力ある学校づくりを実施した高校数	校	62	62	A	事業目的の成果があった高校の割合(評価ランクB以上の高校の割合)	%	100	100	A	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共創事業費)【学校教育室】
					協議体(魅力化コンソーシアム)を設置している高校(分校を含む)の割合	%	85.7	92.1	A	
(公財)岩手育英奨学会に対する補助	法人	1	1	A	申請対象者への貸与率	%	100	100	A	高校奨学事業費補助(大学等進学支援)【教育企画室】
人権教育研究指定校数	校	1	1	A	人権教育リーフレット配布数	部	1,200	1,109	B	指導運営費(人権教育研究推進事業費)【学校教育室】
道徳の指導力向上に関する研修会の回数	回	5	5	A	道徳の指導力向上に関する研修会への参加教員数	人	130	136	A	指導運営費(道徳教育推進事業費)【学校教育室】
読書ボランティア研修会の開催回数	回	7	7	A	小学校における読書ボランティア活用割合	%	88.0	86.5	B	生涯学習推進費(子どもの読書活動推進事業費)【生涯学習文化財課】
子どもの読書活動推進委員会開催回数	回	2	2	A	小学生(5年生)の1か月の平均読書冊数	冊	18.0	16.5	B	
					中学生(2年生)の1か月の平均読書冊数	冊	5.0	4.4	B	
					高校生(2年生)の1か月の平均読書冊数	冊	3.0	1.9	C	
司書教諭講習の受講者数	人	3	3	A	司書教諭資格の取得割合	%	100	67	C	教職員人事管理費(学校図書館利用促進事業費)【教職員課】
セミナーサポート事業回数	回	25	26	A	全国高総文祭団体入賞数	団体	2	3	A	高等学校文化活動支援事業費【学校教育室】
					全国高総文祭個人入賞者数	人	2	4	A	
県中総文祭実施回数	回	1	1	A	全国中文祭派遣団体数	団体	1	1	A	岩手県中学校文化連盟補助【学校教育室】
					全国中文祭派遣個人数	人	25	8	D	
文化活動支援補助団体数	団体	3	3	A	中文祭参加補助者数	人	32	61	A	いわての学び希望基金被災地児童生徒文化活動支援費補助【学校教育室】
					高文祭参加補助者数	人	99	95	B	
県立学校(県立中学校を含む)への部活動指導員配置校数	校	63	46	C	教員の負担軽減が図られたと回答した学校の割合	%	100	100	A	教職員人事管理費(部活動指導員配置事業費)【保健体育課】
道徳の指導力向上に関する研修会の回数	回	5	5	A	道徳の指導力向上に関する研修会への参加教員数	人	130	136	A	指導運営費(道徳教育推進事業費)【学校教育室】

【Ⅲ 教育】114事業（再掲60事業を除く）

番号	部局名	区分	計画 関連	事業名	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	令和6年度				繰越額 (千円)
							国庫	その他	県債	一般	
13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます											
① 児童生徒の健康の保持・増進に向けた対策の充実											
3-21	教委		総	指導運営費(武道等指導充実・資質向上支援事業費) 【保健体育課】	1,988	1,895	1,895	0	0	0	0
3-22	教委		総	60プラスプロジェクト推進事業費【保健体育課】	1,724	1,126	0	0	0	1,126	0
3-23	教委		総	指導運営費(がん教育総合支援事業費)【保健体育課】	499	448	0	448	0	0	0
3-24	教委		総	夜間定時制高等学校給食費【保健体育課】	11	5	0	0	0	5	0
3-25	教委		復・総	児童生徒放射線対策支援事業費【保健体育課】	902	743	0	0	0	743	0
② 適切な部活動体制の推進											
3-26	教委		総	教職員人事管理費(部活動指導員配置事業費)【保健 体育課】	54,231	48,551	13,664	0	0	34,887	0
3-27	教委		復・総	いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援事 業費(いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動 支援費補助)【保健体育課】	24,300	15,628	0	15,628	0	0	0
3-28	教委		総	岩手県高等学校体育連盟強化事業費補助【保健体育 課】	61,490	60,026	0	0	0	60,026	0
3-29	教委		総	岩手県中学校体育連盟強化事業費補助【保健体育課】	23,542	19,319	0	0	0	19,319	0
3-30	教委		総	全国高等学校総合体育大会推進事業費【保健体育課】	3,000	2,740	1,006	0	0	1,734	0
(1-117)	教委	再	総	運動部活動地域連携推進事業費【保健体育課】	(482)	(278)	(0)	(278)	(0)	(0)	(0)
(3-66)	教委	再		教職員人事管理費(再発防止岩手モデル推進事業費) 【教職員課】	(815)	(629)	(0)	(0)	(0)	(629)	(0)
14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます											
① 就学前から卒業後までの一貫した支援の充実											
(3-62)	教委	再		教職員費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)【教 職員課】	(124,529)	(122,504)	(0)	(642)	(0)	(121,862)	(0)
(3-63)	教委	再		管理運営費(障がい者雇用校務補助員配置事業費) 【教職員課】	(12,761)	(12,483)	(0)	(65)	(0)	(12,418)	(0)
3-31	教委		総	特別支援教育推進事業費(特別支援学校キャリア教育 推進事業費)【学校教育室】	11,576	11,420	0	10,766	0	654	0
② 各校種における指導・支援の充実											
3-32	教委		総	特別支援教育推進事業費(特別支援教育かがやきプ ラン推進事業費)【学校教育室】	53,694	52,641	0	127	0	52,514	0
③ 教育環境の充実・県民理解の促進											
3-33	教委		総	特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進プ ラン実践事業費)【学校教育室】	370	326	0	0	0	326	0
3-34	教委		総	特別支援教育推進事業費(県立学校医療的ケア体制 整備事業費)【学校教育室】	109,014	105,291	34,968	373	0	69,950	0
3-35	教委			施設整備費(特別支援学校整備事業費)【教育企画室】	441,565	146,383	9,383	0	111,000	26,000	294,706

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和6年度			指標名	単位	令和6年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
派遣要請校数に対する派遣実施校の割合	%	100	100	A	教員にとって指導の参考となる内容であったと回答した学校の割合	%	100	100	A	指導運営費(武道等指導充実・資質向上支援事業費)【保健体育課】
運動習慣、食習慣、生活習慣改善の一体的取り組みを実践している学校表彰の回数	回	1	1	A	運動習慣、食習慣、生活習慣改善の一体的取り組みを実践している学校表彰の校数	校	14	18	A	60プラスプロジェクト推進事業費【保健体育課】
チャレンジカードの配布校数	校	302	280	B	チャレンジカードを活用している学校の割合	%	100	88	B	
ICTを活用した保健管理等に関するWGの開催回数	回	2	2	A	ICTを活用した保健管理等に関する研究案件数	件	2	1	D	
岩手県学校保健研修会の開催日数	日	1	1	A	「がん教育指導者向けマニュアル」を授業等に活用している学校の割合	%	100	100	A	指導運営費(がん教育総合支援事業費)【保健体育課】
-	-	-	-	—	対象生徒への給与割合	%	100	100	A	夜間定時制高等学校給食費【保健体育課】
放射能モニタリング実施校地数	校地	83	84	A	測定の結果、基準値を超えない割合	%	100	100	A	児童生徒放射線対策支援事業費【保健体育課】
県立学校(県立中学校を含む)への部活動指導員配置校数	校	63	46	C	教員の負担軽減が図られたと回答した学校の割合	%	100	100	A	教職員人事管理費(部活動指導員配置事業費)【保健体育課】
大会出場補助申請者数に対する補助者数の割合	%	100	100	A	-	-	-	-	—	いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援事業費(いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援費補助)【保健体育課】
申請対象団体への補助率	%	100	100	A	全国大会等派遣、強化事業実施の競技数	競技	32	33	A	岩手県高等学校体育連盟強化事業費補助【保健体育課】
申請対象団体への補助率	%	100	100	A	全国大会等派遣、強化事業実施の競技数	競技	19	20	A	岩手県中学校体育連盟強化事業費補助【保健体育課】
実行委員会の開催回数	回	2	2	A	大会参加選手数	人	250	245	B	全国高等学校総合体育大会推進事業費【保健体育課】
地域クラブ活動移行普及ワークショップの開催回数	回	1	1	A	地域クラブ活動移行普及ワークショップへの参加人数	人	200	178	B	運動部活動地域連携推進事業費【保健体育課】
再発防止に向けた取組回数	回	13	13	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	100	A	教職員人事管理費(再発防止岩手モデル推進事業費)【教職員課】
校務補助員の配置人数	人	38	38	A	障がい者の実雇用率	%	2.7	2.48	B	教職員費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)【教職員課】
校務補助員の配置人数	人	4	4	A	障がい者の実雇用率	%	2.7	2.48	B	管理運営費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)【教職員課】
企業との連携協議会対象校数	校	5	5	A	現場実習及び企業との連携協議会を実施した対象校の割合	%	100	100	A	特別支援教育推進事業費(特別支援学校キャリア教育推進事業費)【学校教育室】
職業指導支援員の配置及び企業との連携協議会の設置校数	校	5	5	A	企業での現場実習の実施回数	回	10	10	A	
支援員配置人数	人	34	32	B	支援員の配置により成果のあった学校の割合	%	100	100	A	特別支援教育推進事業費(特別支援教育かがやきプラン推進事業費)【学校教育室】
巡回相談をした特別支援学校数	校	15	15	A	◆巡回相談要請への対応率	%	100	100	A	特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進プラン実践事業費)【学校教育室】
教員研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	70	70	A	特別支援学校の学校公開研究会等の参加人数	人	1,800	1,800	A	
看護師等研修会の開催	回	1	1	A	看護師等研修会への参加率	%	100	100	A	特別支援教育推進事業費(県立学校医療的ケア体制整備事業費)【学校教育室】
看護師の配置率	%	100	100	A	◆看護師による医療的ケアの実施割合	%	100	100	A	
県立学校(特別支援学校)の校舎整備実施施設数	施設	1	1	A	県立学校(特別支援学校)の校舎整備完了施設数	施設	-	-	—	施設整備費(特別支援学校整備事業費)【教育企画室】

【Ⅲ 教育】114事業（再掲60事業を除く）

番号	部局名	区分	計画 関連	事業名	令和6年度						繰越額 (千円)
					最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	国庫	その他	県債	一般	
(新3-2)	教委	再		学校教育DX推進事業費(公立学校入出力支援装置整備事業費)【学校教育室】		-					
15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります											
① いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対処											
(3-2)	教委	再	総	教職員研修費(中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費)【学校教育室】	(2,399)	(2,398)	(0)	(1,032)	(0)	(1,366)	(0)
3-36	教委		総	いじめ不登校対策事業費(いじめ不登校対策事業費)【学校教育室】	7,317	6,761	495	23	0	6,243	0
② 児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進											
3-37	教委		復・総	児童生徒健全育成推進費(スクールソーシャルワーカー配置事業費)【学校教育室】	35,431	35,132	25,938	0	0	9,194	0
3-38	教委		復・総	児童生徒健全育成推進費(スクールカウンセラー等配置事業費)【学校教育室】	304,806	297,570	169,749	530	0	127,291	0
3-39	教委		総	児童生徒健全育成推進費(24時間いじめ相談ダイヤル事業費)【学校教育室】	3,628	3,515	1,171	0	0	2,344	0
(3-55)	教委	再		いじめ不登校対策事業費(不登校等対策推進事業費補助)【学校教育室】	(9,132)	(8,015)	(2,671)	(0)	(0)	(5,344)	(0)
(3-4)	教委	再	総	遠隔教育による学びの機会充実事業費【学校教育室】	(3,100)	(1,618)	(1,618)	(0)	(0)	(0)	(0)
(3-56)	教委	再	総	不登校対策強化事業費【学校教育室】	(2,810)	(2,541)	(141)	(0)	(0)	(2,400)	(0)
3-40	教委		総	心の健康観察システム活用推進事業費【学校教育室】	6,163	4,704	4,704	0	0	0	0
③ デジタル社会における児童生徒の健全育成に向けた対策の推進											
(3-2)	教委	再	総	教職員研修費(中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費)【学校教育室】	(2,399)	(2,398)	(0)	(1,032)	(0)	(1,366)	(0)
16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます											
① 安全でより良い教育環境の整備											
3-41	教委		総	指導運営費(地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費)【保健体育課】	2,231	2,144	1,066	0	0	1,078	0
3-42	教委		復・総	学校安全総合支援事業費(学校安全総合支援事業費)【学校教育室】	4,536	4,059	4,059	0	0	0	0
3-43	教委			校舎建設事業費(屋内運動場整備事業)【教育企画室(施設)】	768,676	432,818	0	0	388,000	44,818	0
3-44	教委			校舎大規模改造事業費(校舎大規模改造事業費)【教育企画室】	1,786,288	1,707,424	5,410	0	1,474,000	228,014	64,000
3-45	教委			理科教育設備整備費【教育企画室】	5,801	5,801	2,900	0	0	2,901	0
3-46	教委			産業教育設備整備費【教育企画室】	17,233	17,233	0	0	0	17,233	0

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和6年度			指標名	単位	令和6年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
入出力支援装置を整備した県立学校数	校	-	-	—	事業計画通り端末の更新が行われた自治体の割合	-	-	-	—	学校教育DX推進事業費（公立学校入出力支援装置整備事業費）【学校教育室】
実施する研修の回数	回	13	13	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	99	B	教職員研修費（中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費）【学校教育室】
いじめ問題に関する研修会開催回数	回	13	24	A	研修会へ教員を参加させた学校の割合	%	100	100	A	いじめ不登校対策事業費（いじめ不登校対策事業費）【学校教育室】
県いじめ問題対策連絡協議会の開催回数	回	2	2	A	「いじめ対応・不登校支援等アドバイザー」に相談のあった、いじめ事案及び不登校支援への対応率	%	100	100.0	A	
スクールソーシャルワーカーの配置人数	人	16	16	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A	児童生徒健全育成推進費（スクールソーシャルワーカー配置事業費）【学校教育室】
小学校のスクールカウンセラー配置、対応校数	校	138	138	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A	児童生徒健全育成推進費（スクールカウンセラー等配置事業費）【学校教育室】
中学校のスクールカウンセラー配置校数	校	143	143	A						
電話相談窓口の設置・運営	箇所	3	3	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A	児童生徒健全育成推進費（24時間いじめ相談ダイヤル事業費）【学校教育室】
携帯カードの作成枚数	枚	133,600	122,480	B						
教育支援センターの設置等に係る配置職員への補助件数	件	12	7	D	教育支援センターを設置済みの市町村数	市町村	27	27	A	いじめ不登校対策事業費（不登校等対策推進事業費補助）【学校教育室】
遠隔教育にむけて取り組んだ実施対象校数	校	6	6	A	遠隔教育を実施した科目の延べ数	科目	12	13	A	遠隔教育による学びの機会充実事業費【学校教育室】
県の教育支援センターの分室の設置	箇所	1	1	A	県の教育支援センターに相談や通所希望があった場合の対応率	%	100	100	A	不登校対策強化事業費【学校教育室】
「心の健康観察システム」導入に係る研修会の開催	回	2	2	A	-	-	-	-	—	心の健康観察システム活用推進事業費【学校教育室】
実施する研修の回数	回	13	13	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	99	B	教職員研修費（中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費）【学校教育室】
スクールガード・リーダー養成講習会の開催	回	2	2	A	講習会参加者数	人	33	39	A	指導運営費（地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費）【保健体育課】
学校防災アドバイザー派遣校数	校	35	35	A	避難訓練や危機管理マニュアルの見直しを行った学校数	校	50	50	A	学校安全総合支援事業費（学校安全総合支援事業費）【学校教育室】
防災教育研修会の開催回数	回	1	1	A	研修受講者の理解度	%	80	83	A	
県立学校の屋内運動場整備実施施設数	施設	1	0	D	県立学校の屋内運動場整備完了施設数	施設	-	-	—	校舎建設事業費（屋内運動場整備事業）【教育企画室（施設）】
県立学校の長寿命化改良・大規模改造実施施設数	施設	1	1	A	県立学校の長寿命化改良・大規模改造完了施設数	施設	-	-	—	校舎大規模改造事業費（校舎大規模改造事業費）【教育企画室】
-	-	-	-	—	理科教育設備整備学校数	校	7	7	A	理科教育設備整備費【教育企画室】
-	-	-	-	—	産業教育設備整備学校数	校	5	5	A	産業教育設備整備費【教育企画室】

【Ⅲ 教育】114事業（再掲60事業を除く）

番号	部局名	区分	計画 関連	事業名	令和6年度						繰越額 (千円)
					最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	国庫	その他	県債	一般	
3-47	教委			部活動設備整備費【教育企画室】	7,395	7,395	0	0	0	7,395	0
3-48	教委			情報処理教育設備整備費【教育企画室】	171,739	171,739	0	0	0	171,739	0
3-49	教委			校舎建設事業費(校舎改築事業)【教育企画室】	261,652	221,340	0	0	199,000	22,340	0
3-50	教委			校舎大規模改造事業費(屋内運動場大規模改造事業)【教育企画室】	51,773	51,645	0	0	46,000	5,645	0
3-51	教委		総	高等学校教育改革推進費(新しい県立高等学校整備計画策定等事業費)【学校教育室】	25,655	24,895	0	66	0	24,829	0
新3-3	教委			災害時学校支援チーム構築事業費【教育企画室】		-					
② 魅力ある学校づくりの推進											
(2-57)	教委	再	総	いわて地域学校連携促進事業費【生涯学習文化財課】	(283)	(276)	(0)	(0)	(0)	(276)	(0)
(2-58)	教委	再	総	指導運営費(県立学校コミュニティ・スクール推進事業費)【学校教育室】	(2,030)	(1,476)	(0)	(0)	(0)	(1,476)	(0)
3-52	教委		総	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(ネットワーク共創事業費)【学校教育室】	16,244	16,117	8,037	42	0	8,038	0
新3-4	教委		総	いわて高校魅力化推進事業費(協働体制推進事業費)【学校教育室】		-					
3-53	教委		総	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共創事業費)【学校教育室】	12,630	11,199	5,599	0	0	5,600	0
3-54	教委		総	指導運営費(特色・魅力あるカリキュラム調査事業費)【学校教育室】	4,700	4,479	4,479	0	0	0	0
③ 多様な教育ニーズに対応する教育機会の確保											
(3-39)	教委	再	総	児童生徒健全育成推進費(24時間いじめ相談ダイヤル事業費)【学校教育室】	(3,628)	(3,515)	(1,171)	(0)	(0)	(2,344)	(0)
3-55	教委			いじめ不登校対策事業費(不登校等対策推進事業費補助)【学校教育室】	9,132	8,015	2,671	0	0	5,344	0
(3-4)	教委	再	総	遠隔教育による学びの機会充実事業費【学校教育室】	(3,100)	(1,618)	(1,618)	(0)	(0)	(0)	(0)
3-56	教委		総	不登校対策強化事業費【学校教育室】	2,810	2,541	141	0	0	2,400	0
3-57	教委		総	指導運営費(外国人児童生徒教育支援事業費)【学校教育室】	138	63	0	0	0	63	0
④ 教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上											
3-58	教委			すこやかサポート推進事業費【教職員課】	87,505	87,144	23,449	446	0	63,249	0
3-59	教委			教職員人事管理費(教職員の健康確保推進事業費)【教職員課】	219	190	0	0	0	190	0

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和6年度			指標名	単位	令和6年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
-	-	-	-	—	部活動設備整備学校数	校	23	23	A	部活動設備整備費【教育企画室】
-	-	-	-	—	情報処理教育設備整備学校数	校	16	16	A	情報処理教育設備整備費【教育企画室】
県立学校の校舎改築実施施設数	施設	2	2	A	県立学校の校舎改築完了施設数	施設	-	-	—	校舎建設事業費(校舎改築事業)【教育企画室】
県立学校の屋内運動場大規模改造実施施設数	施設	1	1	A	県立学校の屋内運動場大規模化改造完了施設数	施設	1	1	A	校舎大規模改造事業費(屋内運動場大規模改造事業)【教育企画室】
高校の魅力向上に向けた意見交換会の回数	回	2	2	A	高校の魅力向上に向け意見交換を行う地域	地区	2	2	A	高等学校教育改革推進費(新しい県立高等学校整備計画策定等事業費)【学校教育室】
					高校の魅力向上に向けた意見交換会参加者数	人	38	52	A	
養成研修の実施回数	回	-	-	—	チーム登録員数	人	-	-	—	災害時学校支援チーム構築事業費【教育企画室】
地域とともにある学校づくり推進フォーラム開催回数	回	6	6	A	地域とともにある学校づくり推進フォーラム参加者数	人	600	739	A	いわて地域学校連携促進事業費(生涯学習文化財課)
-	-	-	-	—	コミュニティ・スクール導入校	校	13	8	C	指導運営費(県立学校コミュニティ・スクール推進事業費)【学校教育室】
魅力化フォーラムの開催回数	回	1	1	A	高校魅力化の取組を情報発信した高校数	校	62	62	A	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(ネットワーク共創事業費)【学校教育室】
「探究共創」交流会の開催回数	回	-	-	—	高校魅力化の取組を情報発信した高校数	校	62	62	A	いわて高校魅力化推進事業費(協働体制推進事業費)【学校教育室】
魅力ある学校づくりを実施した高校数	校	62	62	A	事業目的の成果があった高校の割合(評価ランクB以上の高校の割合)	%	100	100	A	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共創事業費)【学校教育室】
					協議体(魅力化コンソーシアム)を設置している高校(分校を含む)の割合	%	85.7	92.1	A	
コンソーシアム会議の開催回数	回	3	3	A	運営指導委員会開催数	回	2	2	A	指導運営費(特色・魅力あるカリキュラム調査事業費)【学校教育室】
電話相談窓口の設置・運営	箇所	3	3	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A	児童生徒健全育成推進費(24時間いじめ相談ダイヤル事業費)【学校教育室】
携帯カードの作成枚数	枚	133,600	122,480	B						
教育支援センターの設置等に係る配置職員への補助件数	件	12	7	D	教育支援センターを設置済みの市町村数	市町村	27	27	A	いじめ不登校対策事業費(不登校等対策推進事業費補助)【学校教育室】
遠隔教育にむけて取り組んだ実施対象校数	校	6	6	A	遠隔教育を実施した科目の延べ数	科目	12	13	A	遠隔教育による学びの機会充実事業費【学校教育室】
県の教育支援センターの分室の設置	箇所	1	1	A	県の教育支援センターに相談や通所希望があった場合の対応率	%	100	100	A	不登校対策強化事業費【学校教育室】
連携会議の開催回数	回	1	1	A	モデル研究指定校の指定数	校	1	1	A	指導運営費(外国人児童生徒教育支援事業費)【学校教育室】
小学校で30人を超える学級を有し、少人数加配のない学校への非常勤講師配置率	%	100	100	A	学習指導面での改善率	%	90	93	A	すこやかサポート推進事業費【教職員課】
市町村立小・中・義務教育学校安全衛生管理研修会の開催回数	回	4	4	A	市町村教委の労働安全衛生体制の整備数(学校の多忙化解消を話し合う場(包括的な衛生委員会等)の設置)	市町村	33	29	B	教職員人事管理費(教職員の健康確保推進事業費)【教職員課】

【Ⅲ 教育】114事業（再掲60事業を除く）

番号	部局名	区分	計画 関連	事業名	令和6年度						繰越額 (千円)
					最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	国庫	その他	県債	一般	
3-60	教委			教職員費(学校生活サポート推進事業費)【教職員課】	86,387	85,918	23,066	437	0	62,415	0
3-61	教委			教職員人事管理費(スクールサポートスタッフ配置事業費)【教職員課】	50,583	50,479	11,808	3	0	38,668	0
3-62	教委			教職員費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)【教職員課】	124,529	122,504	0	642	0	121,862	0
3-63	教委			管理運営費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)【教職員課】	12,761	12,483	0	65	0	12,418	0
3-64	教委		復	教職員人事管理費(被災教職員健康管理支援事業費)【教職員課】	3,935	3,931	3,911	20	0	0	0
3-65	教委			教職員人事管理費(幼稚園教諭免許取得支援事業費補助)【教職員課】	96	0	0	0	0	0	0
3-66	教委			教職員人事管理費(再発防止岩手モデル推進事業費)【教職員課】	815	629	0	0	0	629	0
3-67	教委			教職員人事管理費(スクールロイヤー相談体制整備事業費)【教職員課】	1,118	132	0	0	0	132	0
18 地域に貢献する人材を育てます											
① 「いわての復興教育」などの推進											
(3-42)	教委	再	復・総	学校安全総合支援事業費(学校安全総合支援事業費)【学校教育室】	(4,536)	(4,059)	(4,059)	(0)	(0)	(0)	(0)
3-79	教委		復・総	いわての復興教育推進事業費【学校教育室】	29,914	26,479	0	26,479	0	0	0
(3-53)	教委	再	総	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共創事業費)【学校教育室】	(12,630)	(11,199)	(5,599)	(0)	(0)	(5,600)	(0)
(3-12)	教委	再	復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】	(16,666)	(14,978)	(0)	(14,978)	(0)	(0)	(0)

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和6年度			指標名	単位	令和6年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
生徒指導面の課題に重点的に取り組む必要がある学校への非常勤講師等配置率	%	100	100	A	生徒指導面での改善率	%	85	84	B	教職員費(学校生活サポート推進事業費)【教職員課】
スクールサポートスタッフの配置人数	人	45	45	A	業務支援体制を整備し負担軽減の効果があつた学校の割合	%	100	100	A	教職員人事管理費(スクールサポートスタッフ配置事業費)【教職員課】
校務補助員の配置人数	人	38	38	A	障がい者の実雇用率	%	2.7	2.48	B	教職員費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)【教職員課】
校務補助員の配置人数	人	4	4	A	障がい者の実雇用率	%	2.7	2.48	B	管理運営費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)【教職員課】
保健師等による巡回相談(沿岸南部教育事務所管内小中学校)対応校数	校	45	45	A	相談希望への対応率	%	100	100	A	教職員人事管理費(被災教職員健康管理支援事業費)【教職員課】
事業の推進に向けた周知(HPIによる紹介)回数	回	1	1	A	幼稚園教諭免許状取得率	%	100	—	—	教職員人事管理費(幼稚園教諭免許取得支援事業費補助)【教職員課】
再発防止に向けた取組回数	回	13	13	A	研修の成果があつたとする受講者の割合	%	100	100	A	教職員人事管理費(再発防止岩手モデル推進事業費)【教職員課】
スクールロイヤー設置数	人	1	2	A	教育法務相談件数	件	12	13	A	教職員人事管理費(スクールロイヤー相談体制整備事業費)【教職員課】
学校防災アドバイザー派遣校数	校	35	35	A	避難訓練や危機管理マニュアルの見直しを行った学校数	校	50	50	A	学校安全総合支援事業費(学校安全総合支援事業費)【学校教育室】
防災教育研修会の開催回数	回	1	1	A	研修受講者の理解度	%	80	83	A	
いわての復興教育実施校の割合	%	100	100	A	取組のねらいを達成した学校の割合	%	100	100	A	いわての復興教育推進事業費【学校教育室】
魅力ある学校づくりを実施した高校数	校	62	62	A	事業目的の成果があつた高校の割合(評価ランクB以上の高校の割合)	%	100	100	A	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共創事業費)【学校教育室】
					協議体(魅力化コンソーシアム)を設置している高校(分校を含む)の割合	%	85.7	92.1	A	
進学支援事業実施高校数	校	7	7	A	進学支援事業の成果があつた学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】
就職等支援事業実施高校数	校	14	14	A	就職等支援事業の成果があつた学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A	

【Ⅲ 教育】114事業（再掲60事業を除く）

番号	部局名	区分	計画 関連	事業名	令和6年度						繰越額 (千円)
					最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
							国庫	その他	県債	一般	
② キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成											
3-80	教委		総	キャリアアップサポート推進事業費補助【学校教育室】	1,000	1,000	0	0	0	1,000	0
(3-53)	教委	再	総	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共創事業費)【学校教育室】	(12,630)	(11,199)	(5,599)	(0)	(0)	(5,600)	(0)
(3-12)	教委	再	復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】	(16,666)	(14,978)	(0)	(14,978)	(0)	(0)	(0)
3-81	教委			産業教育実習船代船建造費【教育企画室】	1,978,420	1,936,923	417,616	0	1,519,000	307	0
③ ものづくり産業人材の育成・確保・定着											
(3-12)	教委	再	復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】	(16,666)	(14,978)	(0)	(14,978)	(0)	(0)	(0)
3-86	教委		総	指導運営費(理数系人材育成事業費)【学校教育室】	306	304	0	228	0	76	0
⑥ デジタル人材の育成											
(3-9)	教委	再	総	いわて進学支援ネットワーク事業費(探究・STEAM教育推進事業費)【学校教育室】	(12,244)	(11,248)	(0)	(0)	(0)	(11,248)	(0)
(3-10)	教委	再	総	高等学校DX加速化推進事業費【学校教育室】	(160,860)	(155,346)	(155,335)	(0)	(0)	(11)	(0)
⑦ 科学技術の理解増進と次代を担う人材の育成											
(3-86)	教委	再	総	指導運営費(理数系人材育成事業費)【学校教育室】	(306)	(304)	(0)	(228)	(0)	(76)	(0)
(3-9)	教委	再	総	いわて進学支援ネットワーク事業費(探究・STEAM教育推進事業費)【学校教育室】	(12,244)	(11,248)	(0)	(0)	(0)	(11,248)	(0)
(3-10)	教委	再	総	高等学校DX加速化推進事業費【学校教育室】	(160,860)	(155,346)	(155,335)	(0)	(0)	(11)	(0)
⑧ 岩手と世界をつなぐ人材の育成											
3-94	教委		総	外国青年招致事業費(外国語指導助手(ALT)招致事業費)【学校教育室】	78,016	76,913	0	387	0	76,526	0
3-95	教委		総	外国語教育推進事業費【学校教育室】	125,658	125,658	0	0	0	125,658	0
(3-6)	教委	再	総	確かな学力育成プラン推進費【学校教育室】	(10,689)	(10,506)	(0)	(0)	(0)	(10,506)	(0)

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和6年度			指標名	単位	令和6年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
キャリアアップ講座やキャリアアップ体験活動等の事業を活用して、キャリア教育を行った学校数	校	15	15	A	キャリアアップ講座やキャリアアップ体験活動等の取組のねらいを達成した学校の割合	%	100	100	A	キャリアアップサポート推進事業費補助【学校教育室】
魅力ある学校づくりを実施した高校数	校	62	62	A	事業目的の成果があった高校の割合（評価ランクB以上の高校の割合）	%	100	100	A	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費（探究共創事業費）【学校教育室】
					協議体（魅力化コンソーシアム）を設置している高校（分校を含む）の割合	%	85.7	92.1	A	
進学支援事業実施高校数	校	7	7	A	進学支援事業の成果があった学校の割合（評価ランクB以上の学校の割合）	%	100	100	A	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】
就職等支援事業実施高校数	校	14	14	A	就職等支援事業の成果があった学校の割合（評価ランクB以上の学校割合）	%	100	100	A	
実習船の代船建造実施隻数	隻	1	1	A	実習船の代船建造完了隻数	隻	1	1	A	産業教育実習船代船建造費【教育企画室】
進学支援事業実施高校数	校	7	7	A	進学支援事業の成果があった学校の割合（評価ランクB以上の学校の割合）	%	100	100	A	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】
就職等支援事業実施高校数	校	14	14	A	就職等支援事業の成果があった学校の割合（評価ランクB以上の学校割合）	%	100	100	A	
科学の甲子園ジュニア県大会実施回数	回	1	1	A	科学の甲子園ジュニア県大会に参加した中学校数	校	12	13	A	指導運営費（理数系人材育成事業費）【学校教育室】
探究的な学習を実施した高校数	校	9	9	A	課題解決のためにデータを活用した生徒の割合	%	100	100	A	いわて進学支援ネットワーク事業費（探究・STEAM教育推進事業費）【学校教育室】
ICT機器を整備した学校数	校	24	17	C	－	－	－	－	－	高等学校DX加速化推進事業費【学校教育室】
科学の甲子園ジュニア県大会実施回数	回	1	1	A	科学の甲子園ジュニア県大会に参加した中学校数	校	12	13	A	指導運営費（理数系人材育成事業費）【学校教育室】
探究的な学習を実施した高校数	校	9	9	A	課題解決のためにデータを活用した生徒の割合	%	100	100	A	いわて進学支援ネットワーク事業費（探究・STEAM教育推進事業費）【学校教育室】
ICT機器を整備した学校数	校	24	17	C	－	－	－	－	－	高等学校DX加速化推進事業費【学校教育室】
外国語指導助手（ALT）の招致人数	人	17	17	A	ALTを活用した県立学校数	校	17	19	A	外国青年招致事業費（外国語指導助手（ALT）招致事業費）【学校教育室】
外国語指導助手（NS）の派遣人数	人	23	23	A	NSを週1回以上活用した県立学校数	校	63	63	A	外国語教育推進事業費【学校教育室】
小中学校における調査の実施	%	100	100	A	調査結果を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A	確かな学力育成プラン推進費【学校教育室】
英検IBA実施学校の割合	%	－	－	－	英検IBAの結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ中学校の割合	%	－	－	－	

【Ⅲ 教育】114事業（再掲60事業を除く）

番号	部局名	区分	計画 関連	事業名	令和6年度						
					最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
							国庫	その他	県債	一般	
(3-7)	教委	再	総	確かな学力育成加速化事業費【学校教育室】	(5,671)	(5,528)	(0)	(0)	(0)	(5,528)	(0)
3-96	教委		総	指導運営費(いわて高校生留学促進事業費)【学校教育室】	600	600	600	0	0	0	0
3-97	教委		総	雲南省教育交流推進事業費【学校教育室】	4,341	4,329	0	0	0	4,329	0
3-98	教委		総	いわての地域国際化人材育成事業費【学校教育室】	4,577	4,111	0	0	0	4,111	0
3-99	教委		復・総	日本の次世代リーダー養成塾派遣事業費【教育企画室】	1,450	1,450	0	450	0	1,000	0

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和6年度			指標名	単位	令和6年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
確かな学力育成調査・研究会議の開催回数	回	3	3	A	各学校への支援内容等の計画に基づき指導助言を行った市町村教委数	市町村	33	33	A	確かな学力育成加速化事業費【学校教育室】
イングリッシュワークショップの開催回数	回	-	-	—	イングリッシュワークショップ後、外国語や外国語活動において肯定的な変容が見られた参加者の割合	%	-	-	—	
留学支援実施回数	回	1	1	A	高校生派遣人数	人	10	10	A	指導運営費(いわて高校生留学促進事業費)【学校教育室】
派遣実施回数	回	1	1	A	中国雲南省への教員等派遣人数	人	3	3	A	雲南省教育交流推進事業費【学校教育室】
英検IBA実施学校の割合	%	100	100	A	英検IBAの結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ中学校の割合	%	100	100	A	いわての地域国際化人材育成事業費【学校教育室】
イングリッシュワークショップの開催回数	回	2	2	A	イングリッシュワークショップ後、外国語や外国語活動において肯定的な変容が見られた児童生徒の割合	%	80	99	A	
被災生徒への参加費負担割合	%	100	100	A	-	-	-	-	—	日本の次世代リーダー養成塾派遣事業費【教育企画室】

【Ⅳ 居住環境・コミュニティ】56事業（再掲25事業を除く）

番号	部局名	区分	計画 関連	事業名	令和6年度						
					最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
							国庫	その他	県債	一般	
26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります											
① 文化芸術を生かした人的・経済的な交流の推進											
(1-127)	教委	再	総	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】	(331,528)	(331,425)	(0)	(11,407)	(0)	(320,018)	(0)
(1-128)	教委	再	総	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】	(433,756)	(433,263)	(0)	(83,628)	(0)	(349,635)	(0)

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和6年度			指標名	単位	令和6年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
企画展・テーマ展の開催回数	回	3	5	A	博物館入館者数	人	40,000	33,421	B	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】
美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	45	50	A	美術館入館者数	人	60,000	83,056	A	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】

【Ⅶ 歴史・文化】13事業（再掲9事業を除く）

番号 部局名 再掲 計画 関連 事業名					令和6年度						
					最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
							国庫	その他	県債	一般	
40 世界遺産の保存と活用を進めます											
① 世界遺産の適切な保存管理と拡張登録の推進											
7-3	教委		総	文化財保護推進費(平泉文化研究機関整備推進事業費)【生涯学習文化財課】	4,000	3,721	0	0	0	3,721	0
7-4	教委		総	柳之御所遺跡整備調査事業費【生涯学習文化財課】	49,087	48,037	12,674	32	0	35,331	0
41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます											
② 伝統文化、文化財などを活用した交流の推進											
7-9	教委		復・総	文化財保護推進費(被災ミュージアム再興事業費)【生涯学習文化財課】	406,973	403,229	201,614	201,615	0	0	0
7-10	教委		総	文化財保護推進費(文化財保護事業費)【生涯学習文化財課】	71,192	68,832	0	0	0	68,832	0
7-11	教委		総	文化財保護推進費(農業基盤整備関連埋蔵文化財発掘調査事業費)【生涯学習文化財課】	11,500	11,405	5,703	0	0	5,702	0
7-12	教委		総	文化財保護推進費(埋蔵文化財緊急発掘調査事業費補助)【生涯学習文化財課】	8,546	8,445	0	0	0	8,445	0
(7-4)	教委	再	総	柳之御所遺跡整備調査事業費【生涯学習文化財課】	(49,087)	(48,037)	(12,674)	(32)	(0)	(35,331)	(0)
7-13	教委		総	カモシカ特別対策費【生涯学習文化財課】	435	435	0	0	0	435	0

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和6年度			指標名	単位	令和6年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
平泉学フォーラムの開催回数	回	1	1	A	平泉学フォーラムの参加者数	人	420	350	B	文化財保護推進費(平泉文化研究機関整備推進事業費)【生涯学習文化財課】
研究年報の発行回数	回	1	1	A	-	-	-	-	-	
史跡整備に伴う発掘調査の実施面積	m ²	800	700	B	-	-	-	-	-	柳之御所遺跡整備調査事業費【生涯学習文化財課】
被災資料の安定化処理及び修復を行う市町村への補助数	件	1	1	A	仮設収蔵庫整備数累計	棟	14	14	A	文化財保護推進費(被災ミュージアム再興事業費)【生涯学習文化財課】
文化財修理等への補助件数	件	21	19	B	-	-	-	-	-	文化財保護推進費(文化財保護事業費)【生涯学習文化財課】
農家負担分経費の負担(調査)件数	件	8	3	D	-	-	-	-	-	文化財保護推進費(農業基盤整備関連埋蔵文化財発掘調査事業費)【生涯学習文化財課】
市町村発掘調査の助成件数	件	17	16	B	-	-	-	-	-	文化財保護推進費(埋蔵文化財緊急発掘調査事業費補助)【生涯学習文化財課】
史跡整備に伴う発掘調査の実施面積	m ²	800	700	B	-	-	-	-	-	柳之御所遺跡整備調査事業費【生涯学習文化財課】
市町村への食害対策費補助	件	1	1	A	-	-	-	-	-	カモシカ特別対策費【生涯学習文化財課】

【IX 社会基盤】32事業（再掲56事業を除く）

番号	部局名	区分	計画 関連	事業名	令和6年度						繰越額 (千円)
					最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	国庫	その他	県債	一般	
46 安全・安心を支える社会資本を整備します											
② 公共建築物等の耐震化による安全の確保											
(3-44)	教委	再		校舎大規模改造事業費(校舎大規模改造事業費)【教育企画室】	(1,786,288)	(1,707,424)	(5,410)	(0)	(1,474,000)	(228,014)	(64,000)

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和6年度			指標名	単位	令和6年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
県立学校の長寿命化改良・大規模改造実施施設数	施設	1	1	A	県立学校の長寿命化改良・大規模改造完了施設数	施設	-	-	—	校舎大規模改造事業費(校舎大規模改造事業費)【教育企画室】

議案第11号

県立高等学校の学科の廃止に関し議決を求めることについて

次のとおり県立高等学校の学科を廃止することについて、議決を求める。

1 県立高等学校の学科の廃止

学校名	区 分	課程等	学 科	位 置
岩手県立大槌高等学校		全日制	普通科	上閉伊郡大槌町

2 廃止の時期

令和8年4月1日

令和7年8月25日提出

岩手県教育委員会教育長 佐 藤 一 男

理由

県立高等学校の学科を廃止しようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

令和 8 年 度

県立学校の編制について

岩 手 県 教 育 委 員 会

I 令和 8 年度 県立高等学校の編制について

1 課程別・学科別募集学級数及び募集定員

令和 8 年度の課程別・学科別募集学級数及び募集定員の状況は、次の表のとおりである。

区 分			募集学級数			募集定員		
			7 年度	8 年度	差	7 年度	8 年度	差
県立高等学校	全 日 制	普 通 科・理 数 科	122	118	▲ 4	4, 880	4, 720	▲160
		職業に関する学科	68	68	0	2, 720	2, 720	0
		総 合 学 科	23	23	0	920	920	0
		小 計	213	209	▲ 4	8, 520	8, 360	▲160
	定 時 制	普 通 科	13	13	0	520	520	0
		職業に関する学科	1	1	0	40	40	0
		小 計	14	14	0	560	560	0
合 計			227	223	▲ 4	9, 080	8, 920	▲160

2 ブロック別募集学級数増減

令和8年度のブロック別募集学級数増減の状況は、次の表のとおりである。

ブロック	募集学級数 R7→R8	令和8年度募集学級数		学 校 名	令和7年度設置学科 及び募集学級数	令和8年度設置学科 及び募集学級数	令和8年度募集学級数増減		
		全日制	定時制				学 科	増	減
盛岡	70→70	65	5	(該当なし)					
岩手中部	36→36	36	0	(該当なし)					
胆江	23→22	20	2	金ケ崎	普通 2	普通 1	普通		▲1
両磐	23→22	21	1	大 東	普通 2 情報ビジネス 1	普通 1 情報ビジネス 1	普通		▲1
気仙	14→14	13	1	(該当なし)					
釜石・遠野	15→15	14	1	(該当なし)					
宮古	17→17	16	1	(該当なし)					
久慈	15→15	13	2	(該当なし)					
二戸	13→11	10	1	軽 米	普通 2	普通 1	普通		▲1
				福 岡	普通 4	普通 3	普通		▲1
合計	226 → 222	208	14				普通 普通・理数 農業 工業 商業 水産 家庭 総合 定時制		▲4
							計	0	▲4

3 学科改編

令和8年度における学科改編はない。

4 学校再編

令和8年度における再編を計画した高等学校はない。

5 年次進行に伴う県立高等学校の分校、課程及び学科の廃止（岩手県立学校設置条例該当事項）

令和6年度から募集を停止しており、令和7年度をもって令和5年度入学生が卒業する学科について、令和8年度に廃止しようとするものである。

地区 (位置)	学 校 名 (課程)	設置学科 (学級数)			
		R5	R6	R7	R8
沿岸南部 (大槌)	大槌高校 (全日制)	普通科 (6)	普通科 (4) 地域探究科 (2)	普通科 (2) 地域探究科 (4)	地域探究科 (6)

Ⅱ 令和8年度 県立特別支援学校の編制について

1 令和8年度における設置を予定している県立特別支援学校の状況は、次の表のとおりとする。

学校名	区分	教育の 対象者	開設 学部	課程	学科	修業年限	理 由
二戸北星 支 援 学 校	本校	知的障がい 肢体不自由	小学部			6 年	特別支援学校未設置地区であった二戸地区に新たに設置しようとするものである。
			中学部			3 年	
			高等部	全日制	普通	3 年	
	奥中山校		小学部			6 年	これまで盛岡みたけ支援学校の分校としていたが、地域特性を踏まえた学校運営を行うため、新設校の分校として設置しようとするものである。
			中学部			3 年	

2 令和8年度における廃止を予定している県立特別支援学校の状況は、次の表のとおりとする。

学校名	区分	教育の 対象者	開設 学部	課程	学科	修業年限	理 由
盛岡みたけ 支援学校	奥中山校	知的障がい 肢体不自由	小学部			6年	これまで盛岡みたけ支援学校の分校としていたが、地域 特性を踏まえた学校運営を行うため、新設校の分校として 設置するために廃止しようとするものである。
			中学部			3年	